

あらかしの森^もの林通信

4月号

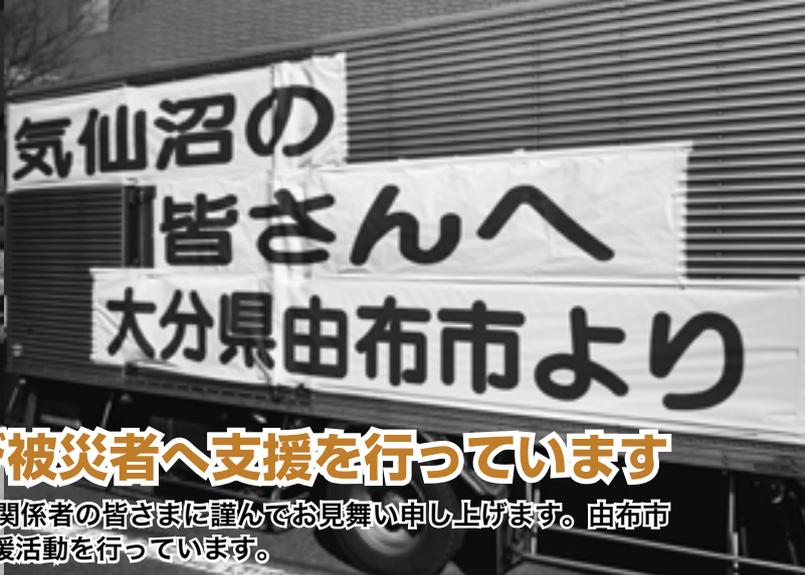


● 東日本大震災の支援について

● 平成23年度 施政方針

● 平成23年度 予算のご紹介

一日も早い復興を
祈って



東日本大震災の被災地および被災者へ支援を行っています

このたびの、東日本大震災で被災された皆さま、ご関係者の皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。由布市では、被災地および被災者の皆さまへ、さまざまな支援活動を行っています。

●市内各所で義援金箱を設置しています。

由布市では、3月14日(月)から東日本大震災の被災地や被災者救援のため、義援金箱を市内各所で設置しています。挾間町内では市役所挾間庁舎地域振興課、はさま未来館、市立図書館、庄内町内では市役所庄内庁舎地域振興課、庄内公民館ほのぼの温泉館、湯布院町内では市役所湯布院庁舎1階窓口、2階、湯布院公民館クアージュ湯布院、ゆふいん道の駅の合計11カ所です。



義援金にご協力をお願いします▲

また、義援金箱のほかにも、市民の皆さんへ義援金をお願いする旨の通知を震災後すぐに各自自治区にしています。3月31日現在、総額1,276万円もの義援金を皆さんからいただいています。由布市でも義援金の専用口座を開設しましたのでご利用ください。

- 金融機関名 大分銀行 小野屋支店
- 口座名義 由布市総務課
- 口座番号 5103789

大分銀行各支店で、振り込み用紙に記入した上で、「義援金です」と窓口の担当者に出していただく手数料は不要です。ただし、ATMでの振り込みは有料となりますのでご了承ください。

●一時避難の受け入れをしています

由布市では、今回の大震災による被災者の方の受け入れを行っています。湯布院町川上にある旧国民宿舎「由布山荘」に、このたび一時避難所を開設しました。

対象者

①災害救助法を適用される地域の被災者のうち、避難して継続的な救助が必要とされる方(地域:岩手県、宮城県、福

島県、青森県、栃木県、千葉県内の指定された市町村災害救助法適用地域となります。)

②福島第一原子力発電所事故により、原発からの距離が半径30km圏内で、避難指示や屋内退避を求められている方(お知らせ)

①基本的には、公営住宅や現地の仮設住宅の環境整備が整うまでの一時避難所です。

②3日〜4日間は、無償で食事の給付を行います。後日、受け入れが可能になり次第、あらためて希望者へご連絡します。

③受付方法 電話やFAX等で受け付けします。後日、受け入れが可能になり次第、あらためて希望者へご連絡します。

申込先・問い合わせ 総務課(庄内庁舎)
☎09715821111(内線210)
FAX:097158213971

●宮城県登米市と気仙沼市へ物資を提供しました

由布市では、3月18日、宮城県の登米市に物資を提供しました。

さかのぼること1988年(昭和63年)から、旧挾間町が宮城県の旧迫町と姉妹都市交流を行っていたこともあり、また、同市から物資搬送の要請を受けて、今回物資を提供しました。登米市へは、紙おむつと粉ミルクを送りました。

一方、気仙沼市でも、多数の避難者があり、被災者の生活用品や食料などが不足している状況です。



3月25日には、特に不足する食料(米・水・カップラーメン&みそ汁・缶詰など)をはじめ、マスクや歯ブラシ、割り箸やおむつなどの生活用品を10トントラックに積み込み、気仙沼市へ搬送しました。

●大分県緊急消防援助隊へ派遣しました

大分県緊急消防援助隊への派遣要請を受けて、由布市消防本部から救助工作車と5人の隊員が宮城県の被災地に向けて出発。3月14日〜3月19日まで、岩手県釜石市(鶴住居町)を活動拠点に、大阪・愛媛の各援助隊やIRT(国際消防救助隊)とともに救援活動を行いました。



▲出発式の様子

●応援メッセージを募集します

被災地や被災された方への激励メッセージを募集します。期限は4月末までで、郵送やFAX、電子メールで受け付けます。集約の上、被災地へ届けたいと思います。

原稿用紙:800字程度でサイズや形式は不問。
〒879-15498 由布市庄内町柿原302番地 由布市総務課あて
FAX:097158213971
電子メール: somu@city.yufu.oita.jp

これまで、由布市へ義援金と物資をご提供していただいた皆さんに、感謝申し上げます。被災地の方々におかれましては、一日も早い復旧がなされますことをお祈り申し上げます。由布市でも、被災地および被災者の方への支援を引き続き行っていきたく思いますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

『地域自治を大切に』

住み良き日本一』のまちを目指して

由布市長 首藤奉文

(平成23年第1回議会定例会での施政方針)

平成23年度の市政運営についての所信と施策の概要について申し上げます。

鹿児島県と宮崎県にまたがる「新燃岳」では依然として火山性爆発がくり返し発生し、周辺の皆さんに不安を与えています。由布市周辺の由布岳や黒岳も活火山であるが故に、新燃岳周辺の状況を伝えるマスコミ報道が、遠い他県での出来事とは思いたくない昨今で、由布市においても、あらためて市民の安心・安全に万全を期さねばと考えさせられたところです。

また、在沖繩米軍による、日出生台演習場での実弾砲撃訓練は、2月19日までに撤収が終了しました。報道によると、今年は例年より「短期集中型」の激しい内容であったと地元在住者の意見も掲載されたところです。由布市消防団などの協力をい

ただきながら、市民の安心・安全の確保を第一義として取り組んでまいりましたが、訓練が終了したことに安堵しています。

内閣府が2月14日に発表した「2010年国内総生産」は3年ぶりに対前年比で1.8パーセント増加したものの、経済規模で42年間守り続けた世界2位の座を明け渡すことになりました。これまで、国においてさまざまな経済対策を講じており、その対策の一つとして、「緊急総合経済対策」を進めております。由布市におきましても、積極的な経済対策を先の議会において可決いただき、諸事業を展開しているところです。

それでは、平成23年度に取り組みべき施策について、私の考えの一端を述べさせていただきます。

平成23年度につきましても、「住

みよさ日本一のまちの実現に向けて、本年度策定した第二次由布市市行財政改革実施計画を着実に推進し、由布市の基礎固めを進めるとともに、由布市の持つ地域資源に、さらに「磨きをかけ、輝きを与えるようなまちづくり」を進めてまいります。

少子高齢化の急速な進行、市民の価値観の多様化・複雑化、長引く景気低迷による雇用情勢や地方財政の悪化、さらには地方分権の進展による自治体の自己決定・自己責任の増大など地方行財政を取り巻く情勢は大変厳しい状況にあります。

こうした中、今後の公共サービスを安定的に行っていくためには、私がかれまで一貫して掲げております、市民との「協働」が不可欠であります。『**由布市の元気**』は「**地域の元気**」を合言葉に、私たち一人ひとりが「地域に目を向け」「地域に戻り」「地域に関わる」ことで市民と行政の距離を近づけ、「**みんなが住みたい・住み続けたい・そして住んでよかったと思える素敵なまち**」にしていかなければなりません。そのためにも、私も可能な限り地域に赴き、多くの皆さんと対話を重ね、市民の目線に立った行政運営を進めてまいります。そうして由布市の政策・施策・事務事業の実施状況を積極的に市民に公開し、地域の課題を市民と

共有し、市民とともにまちづくりを進めていくために、平成23年度は「市民の住みよさについての満足度」を調査することといたしました。

また、こうした行政を進める上での職員の意識改革はもとより、将来の財政状況等を見据えた組織の見直しも引き続き行います。振興局のあり方や本課機能などについて、これまでの経緯を踏まえ、平成23年度早々に市としての考え方をまとめ、議会をはじめ地域審議会・市民の皆さんに公開し、ご意見をいただきながら今後の方向性を確立していきたいと思っております。

平成23年度の具体的な組織の見直しとしては、行財政改革の今後5年間の実施計画ができましたので、行財政改革推進課を廃止し総務課に組み込み、本計画のフォローアップなどの業務を着実に推進します。

また、産業廃棄物対策課につきましては、由布市の環境行政の枠組みの中で所掌事務を環境課に組み込むことで廃止することにいたしました。関係する条例を3月議会に提案できませんでしたが、今回の産業廃棄物処理場建設問題を契機に高まった市

民の環境への意識を後退させることのないよう、「由布市環境基本条例」や具体的な規制条例等について、市民の理解をいただきながら、早期に議会に提案したいと考えております。



▲地産地消の推進を目指して

22年度に引き続き、「地産地消と観光の振興」「教育資質の向上」「高齢化と小規模集落対策」「子育て支援対策」「情報発信・交流連携」の5つの重点事業を定め、市民の皆さんのご理解とご協力をいただき、「メリハリのある事業執行」を行う所存です。

まず1点目の、「**地産地消と観光の振興**」については、国からの直接支援として23年・24年の2カ年をかけて、由布市の農産物のブランド化を行いつつ、その産物とゆふいん観光との連携の糸口を見出すための新規事業を計画しました。この地産地消事業は、これまで以上に全力をあげて取り組むために、その進めべき組織に職員を外向させ具体的に動き始めます。

また、由布市の主産業の一つであります観光振興につきましては、新幹線の九州ルートの全線開通を視野にしている事業予算を計上しています。

2点目の、「**教育資質の向上対策**」で、小中高の教育環境の整備についてですが、由布市独自の小学生の学力向上や英語力向上の事業は、引き続きその成果を踏まえて推進を行う一方、挟間小学校と谷小学校の校舎の整備にも取り組めます。由布高校存続の支援事業費も継続して、存続のための活動を活発に進めたいと考



▲元気な笑顔いつまでも



▲由布高校の存続のために



▲子育て環境の充実

えております。

3点目の「**高齢者施策**」については、家庭で介護している在宅の高齢者の支援制度の創設などを行い、高齢者にも子育て中の家庭にも「住みよさ」「暮らしよさ」を感じていただけるような予算化を進めているところです。

4点目の「**子育て支援対策**」についてですが、子どもを育てやすい環境整備についても進めます。子どもの放課後クラブ等の充実を一層進める中で、従来から実施していた乳幼児の子育てのさまざまな悩みなどを解消するために、子育て家庭を市の保健師などが訪問するといった制度をより充実するしくみなどを企画し

ました。

5点目の「**情報発信と交流・連携**」ですが、合併後のまちづくりをさらに進化させる由布市づくりのため、すぐれた知恵や人や技などの情報を市民が共有し、その情報を発信し、公表・公開するような「しくみ」づくりを行うための事業予算を計上させていただいております。また、地域や世界のまちづくりを見て聞いて、体験するための「**交流連携**」を進める市民の交流支援制度を新規に創設いたしました。併せまして、市民の皆さんと誘致運動を展開していきます、大分県立美術館の誘致対応を積極的に行いたいと考えています。

いずれにいたしましても、一般会計では「メリハリのある事業予算」を計上させていただいております中で、「**行財政改革**」は引き続き進化させながら、「ムリ・ムダ・ムラ」を解消する改善と改革を進めます。

大きな由布の森の木の新しい枝を伸ばすことや、古い枯れ枝を除去すること。伸び過ぎた枝を少し切り取ることに。そして間伐により、その「**由布の森は新しく、そして元気な活力**

ある森として成長」することができ

ます。

平成23年度の、「**地域自治を大切にしたい住みよき日本一のまち由布市**」のまちづくりの扉を開き、市民の皆さん・議会とともに全力でその責務を果たして邁進する所存です。

議員各位をはじめ、3万6千市民の1層のご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、平成23年度の所信と決意とさせていただきます。



▲プロジェクトチームで誘致活動を展開

由布市のシンボルキャラクター

ゆふきやらの募集します！

由布市では、「融和・協働による発展」を理念とし、住む人も訪れる人も笑顔になれるまちづくりを進めています。そんな由布市にぴったりのマスコットキャラクター「ゆふきやら」を募集します。

◆募集内容 由布市のイメージを明確に表現し、世代を問わず親しみやすく、心むくデザインをお考えください。

◆賞 ゆふきやら賞1点(由布院温泉ペア宿泊券)

※受賞作品を由布市のマスコットキャラクターとして採用し、作品は各種広報印刷物、由布市公式ホームページ等で使用します。

◆応募資格 国籍、年齢、性別、個人・団体、資格、職業、プロ・アマの別を問いません。

◆応募方法 キャラクターごと、A4判用紙1枚に動き、表情の違うカット3点以上で応募してください。A4判用紙または電子データ原稿に、次の事項を記載の上、郵送(由布市各庁舎への持ち込み可)または電子メールでご応募ください。

【表面】キャラクター図案(カラー)、キャラクターコンセプト(作品意図・作品の簡単な説明)、キャラクター愛称、性格など。

【裏面】氏名(フリガナ)、住所、電話番号、FAX番号、電子メール、職業または学校名と学年

※電子メールの場合は、件名を「ゆふきやら応募」として、メール本文に必要事項を記載の上、作品(Jpg形式またはPDF形式、容量2M以内、ページ設定A4版)を添付してください。

◆募集締切 平成23年5月末日(必着)です。

を募集します！



◆応募規定 応募点数に制限はありませんが、オリジナルの未発表作品に限りません。応募にあたり要する経費は応募者の負担とします。採用作品の著作権、二次使用权、商品化権、放送権その他一切の権利は由布市に帰属します。採用作品の使用にあたっては、補作・修正をさせていただきます。

とや、別の愛称を付して使用することがあります。応募作品は返却しません。また、応募に伴う個人情報については、由布市個人情報保護条例に従い適正に管理し、本募集に関する目的以外に使用しません。

◆審査・発表 厳正なる審査により選考します。発表は7月ごろ、市報や由布市公式ホームページに掲載するほか、受賞者ご本人に直接通知します。なお、受賞者以外へは連絡いたしません。受賞された場合、氏名、住所、職業(学校名)を公表させていただきます。

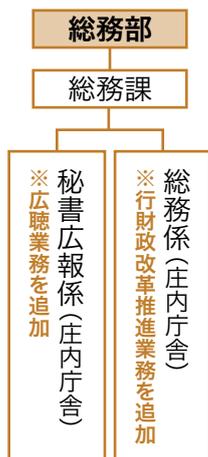
◆応募先および問い合わせ

由布市役所総務部総務課「ゆふきやら募集」事務局
〒879-5498 由布市庄内町柿原302番地
電話：097-5821111(内線2003)
E-mail: publicity@city.yufu.oita.jp

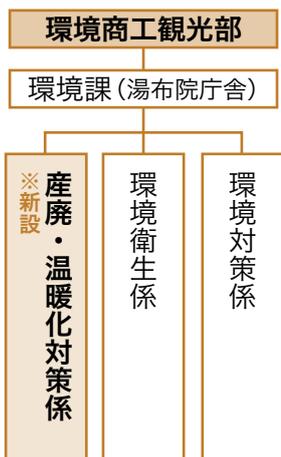
組織機構の一部変更のお知らせ

今年4月から一部組織機構を変更しましたので、お知らせします。

①今後5年間の行財政改革の実施計画が完成したため、総務部の行財政改革推進課を廃止して総務課に統合し、同計画のフォローアップなどの業務を着実に推進します。また、総務課の広聴係を既存の秘書広報係に移管して、広聴業務の充実を図ります



②本市の環境行政の枠組みの中で、環境商工観光部の産業廃棄物対策課を廃止して、所管業務を同部環境課へ移管します。そして、産業・温暖化対策係を新設します。



新県立美術館誘致に向けて

3月10日、大分県立美術館由布市誘致期成会（桑野和泉会長）が、由布市と由布市議会へ誘致強化についての要望書を提出しました。市を代表して首藤市長、市議会を代表して渕野議長がそれぞれ要望書を受け取り、さらなる由布市への誘致活動を強化することを約束しました。



県では、昨年12月15日から今年度の1月31日までの間、県民を対象に「県立美術館基本構想答申」について募集し、2月23日に意見の概要と県の考え方をホームページ等で公表しています。県は今後、すべての意見を参考に具体的な立地場所を踏まえ、美術館構想を早急に策定していく予定です。

美術館のあるまちとして誇りが持てる由布市を目指して、今後も新県立美術館の誘致に向けて、積極的に誘致活動を行います。

由布市誘致活動の経過について

平成22年9月中旬	美術館誘致計画に検討協議
平成22年10月中旬	由布市内の建設候補地について内部検討
平成22年10月25日	由布市および由布市議会合同で広瀬県知事に誘致要望
平成22年12月中旬	由布市内の建設予定地がJR南由布駅周辺一帯が適地と決定
平成22年12月27日	市役所職員で「誘致推進プロジェクトチーム」が発足
平成23年1月13日	第1回誘致推進プロジェクトチーム会議
平成23年1月20日	自治委員連合会湯布院支部会議で協議
平成23年1月25日	大分県立美術館構想に伴う由布市誘致懇談会
平成23年1月25日	大分県立美術館由布市誘致期成会発足
平成23年2月28日	大分県立美術館由布市誘致期成会会議

問い合わせ ● 総合政策課(庄内庁舎) ☎097-582-1111 (内線220)

市役所の窓口延長業務の体制が変わります!

7時まで
窓口延長

4月1日から、市役所の窓口時間を現在の午後6時閉庁から午後7時まで延長します。ただし、各庁舎によって実施曜日が異なりますので、ご注意ください。また、実施曜日以外は午後5時に閉庁します。

(庄内庁舎) 月曜日・火曜日
(湯布院庁舎) 水曜日・木曜日
(挾間庁舎) 木曜日・金曜日

■開庁日

平成23年4月1日から平成24年3月31日の月曜日から金曜日(祝日除く)

■開庁場所および曜日

庄内庁舎…市民課および税務課
(毎週月曜日および火曜日)
☎097-582-1111

湯布院庁舎…地域振興課窓口
(毎週水曜日および木曜日)
☎0977-84-3111

挾間庁舎…地域振興課窓口
(毎週木曜日および金曜日)
☎097-583-1111

■取扱業務

住民票等に関するもの

- 1.住民票
- 2.住民票記載事項証明書
- 3.戸籍謄本・抄本
(現在戸籍に限る)
- 4.戸籍の附票
(現在の住所が載っている戸籍の附票のみ)
- 5.印鑑登録
- 6.印鑑登録証明書

税等に関するもの

- 1.所得額・課税証明書
- 2.課税証明書
- 3.非課税証明書
- 4.評価額証明書(土地・家屋)
- 5.公課証明書(土地・家屋)
- 6.資産証明書
- 7.完納の納税証明書
 - ①納税証明書
 - ②軽自動車税納税証明書(車検用のみ)

平成23年度 予算が決まりました

予算総額

254億7,062万円

一般会計 **162億3,217万円**
 特別会計 **83億9,933万円**
 水道事業会計 **8億3,912万円**



市民一人当たりの予算

約45万円

※一般会計予算について
 平成23年2月末人口36,272人で算出

一般会計予算前年度比

3.8%増

平成23年度予算は、由布市総合計画で掲げる「地域自治を大切にしたい住み良さ日本一のまち」の実現を最重点に、第2次行財政改革大綱・実施計画の「将来にわたり行政サービスを安定的に提供し、住民サービスにこたえる市政を目指す」ことを踏まえ編成しました。また、「地産地消と観光振興」「教育資質の向上対策」「高齢化と小規模集落対策」「子育て支援対策」「情報発信・交流連携」などの事業を盛り込みました。このほど開かれた平成23年第1回市議会定例会で審議、議決されましたので、市民の皆さんにその概要についてお知らせします。

一般会計予算額は、162億3,217万円で前年度比5億8,687万円増、率にして3.8%の増となりました。増額の主な要因としては、由布院小学校の改築工事、そのほか小中学校校舎などの耐震補強工事による教育費の前年度比6億9,360万円増(39.5%増)、子宮頸がんワクチンや小児肺炎球菌ワクチン等の予防接種事業による衛生費の前年度比9,199万円増(6.0%増)、電算システムの更新や地域情報発信事業に取り組むため総務費の前年度比7,082万円増(3.2%増)が挙げられます。

歳入の面から見てみますと、景気低迷や雇用の不安定による影響で市税の収入は前年度比8,435万円減(2.2%減)となる一方、主に工事に伴う借入金である市債は前年度比4億8,180万円増(28.9%増)となっており、執行において効率のよい財政運営に努めなければなりません。



各会計別の予算額

会 計	平成23年度予算	平成22年度予算	増減率
一 般 会 計	162億3,217万円	156億4,530万円	3.8%
特 別 会 計	83億9,933万円	82億189万円	2.4%
国民健康保険	40億5,307万円	40億3,963万円	0.3%
老人保健	23万円	362万円	△93.7%
介護保険	34億6,975万円	33億2,473万円	4.4%
後期高齢者医療	3億9,298万円	3億7,684万円	1.6%
簡易水道事業	2億2,757万円	1億9,595万円	16.1%
公共下水道事業	1,068万円	1,110万円	△3.7%
農業集落排水事業	1億1,888万円	1億904万円	9.0%
健康温泉館事業	1億3,616万円	1億4,098万円	△3.4%
水 道 事 業 会 計	8億3,912万円	8億9,129万円	△5.9%
うち収益的支出	4億9,967万円	5億237万円	△0.5%
うち資本的支出	3億3,945万円	3億8,892万円	△12.7%



Q.「予算」って、何ですか？

A.1年間の収入と支出の見積もりです。

皆さんから納めていただく税金は、国・県・市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われています。新しい年度が始まる前に、その1年間でどのくらいの収入があるのか、その収入によって行政サービスをどのように行うのかを計画し、必要なお金を見積もります。

行政機関では、4月から翌年の3月までの1年間を年度といいます。



Q.予算はどうやって決めるの？

A.市長が予算案をつくり、市議会の審議と議決によって決まります。

市役所のそれぞれの担当部署は、市民のみなさんの意見や要望を聴き、地域の状況などをみながら翌年度に行う行政サービスを検討します。市長は、市の計画などにそって、各担当部課で検討された案をもとに予算案をまとめ、市議会に提出します。

市議会では、提出された予算案について議論し、いろいろな面から審議したうえで、議決により予算を決めます。



Q.一度決めた予算は、変更できないの？

A.変更することがあります。補正予算といいます。

市議会で決定した予算を使っていくうえで、予算を見積もるときには予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは予算を変更する必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提案します。

最初の予算のことを「当初予算」というのに対して、このような変更する予算のことを「補正予算」といいます。



Q.予算書はどこで見ることができるの？

A.各庁舎で見ることができます。

予算書を実際に見たい方は、庄内庁舎財政課または挟間庁舎地域振興課、湯布院庁舎地域振興課の窓口でもご覧いただけます。各窓口で閲覧用の予算書をご用意しています。

それでは、皆さんの生活に最も関係の深い「一般会計」の予算について、どのような収入や支出があるのか、どのような事業を予定しているのか、次のページから詳しく見てみましょう！



問い合わせ◆財政課財政係 ☎ 097-582-1111 (内線 218)

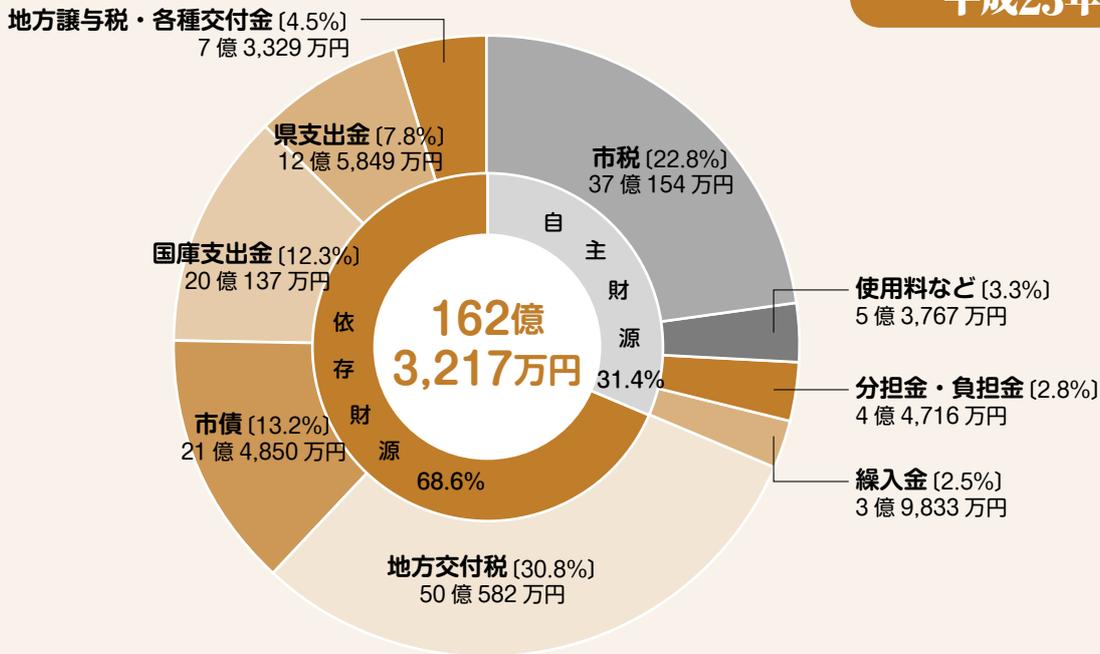
桜の花が咲き始めた春の日、ゆうこちゃんとうふうくんは由布市の予算について勉強するために、今回も市役所を訪れました。

予算に関する

Q & A

収入について

まず、一般会計の収入(歳入)について見てみましょう。



自主財源(市の自主的な収入)より、依存財源(国や県からもらったお金など)の割合が大きいな～。

歳出用語解説

人件費	職員の給料や委員報酬など人にかかる費用
扶助費	児童手当、生活保護、医療費の援助など、主に福祉・保健・医療にかかる費用
投資的経費	学校施設建設や道路整備など主に工事に関する費用
物件費	光熱水費や委託料など主に施設管理・行政運営にかかる費用
公債費	過去の借入金の返済にかかる費用
補助費等	各種団体などに対する助成にかかる経費
繰出金	一般会計から、特別会計などに支出する経費
維持補修費	修繕や施設の維持にかかる経費

歳入用語解説

市税	皆さんに納めていただく市民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税など
繰入金	主に基金(市の預金)の取り崩し
地方交付税	地方ごとに生じる地方税の収入の差を調整するために、国から交付されるお金
市債	長い間利用される市の施設をつくるなど、借り入れるお金
国庫支出金	特定の事業に対して、国から使いみちを指定して交付されるお金
県支出金	特定の事業に対して、県から使いみちを指定して交付されるお金
地方譲与税	国から地方に使いみちは指定せず配られるお金
各種交付金	利子割交付金、配当割交付金、地方消費税交付金など国から交付されるお金

景気が悪くなって給料や手当が昨年より減りそうです。食費を切り詰めたものの、医療費は引き続き増えそうでローンの返済もあります。光熱水費の節約にも努めていますが、それでも足りない分は、銀行からの借金をしたり貯金を取り崩してやりくりをする厳しい1年になりそうです。



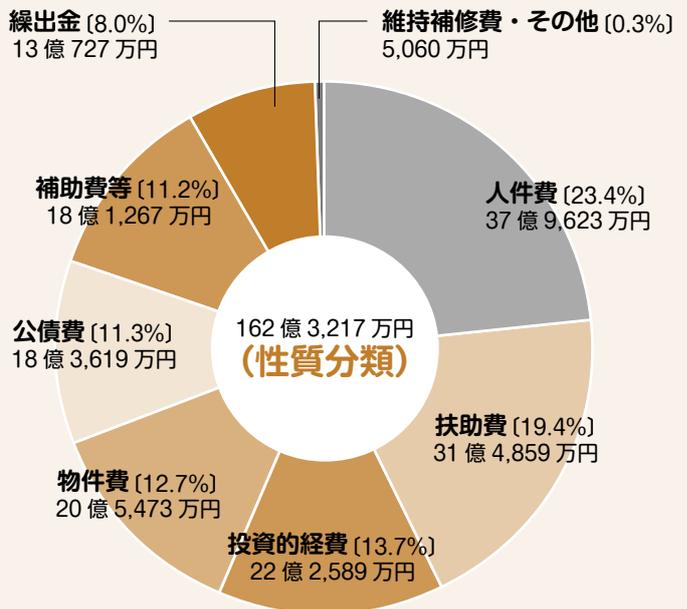
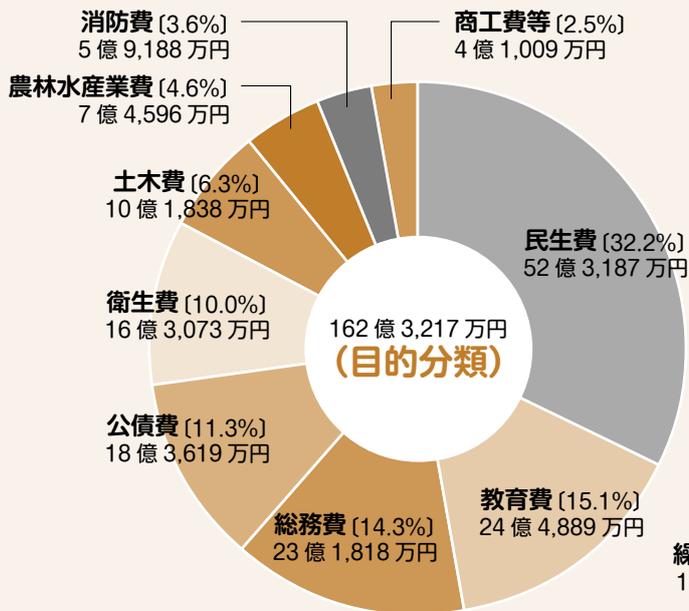
収入

市税	37億 154万円	給与	69,000円
分担金・負担金	4億 4,716万円	諸手当	8,000円
使用料など	5億 3,767万円	パート収入	10,000円
地方譲与税	2億 1,590万円		
各種交付金	5億 1,739万円	親からの援助	166,000円
地方交付税	50億 582万円		
国・県支出金	32億 5,986万円	貯金の取り崩し	7,000円
繰入金	3億 9,833万円	銀行からの借金	40,000円
市債	21億 4,850万円		
計	162億 3,217万円	計	300,000円

支出について

支出（歳出）については、「目的」と「性質」の2つの分類から見るることができます。

福祉や教育、ゴミの処理やまちづくりなど、いろいろな分野のための予算があるのね！



歳出用語解説

民生費	生活保護や、児童・高齢者・障がい者などに対する社会福祉のための経費
教育費	小中学校の運営や、生涯学習、スポーツ振興のための経費
総務費	庁舎などの管理、企画調整、地域活性化のための経費
衛生費	医療費助成・健診などにかかる経費や、ごみ処理・環境対策のための経費
土木費	道路整備、住宅管理、都市計画などのための経費
農林水産業費	農林漁業の振興、農林道の整備などのための経費
消防費	火災予防や消火活動、救急救助活動のための経費
商工費等	商工業や観光振興のための経費、議会にかかる経費、災害復旧にかかる経費

ゆふ家の家計簿

市の予算は数字が大きすぎてなかなか実感がわかないと思います。そこで今年も、市の予算を月収30万円の家庭に置き換えて、家計簿に例えてみました。

支出

人件費	37億9,623万円	食費	70,000円
扶助費	31億4,859万円	医療費	58,000円
維持補修費	2,940万円	車修理費	600円
投資的経費	22億2,589万円	家の増改築費	41,000円
補助費等	18億1,267万円	子どもの教育費	34,000円
物件費	20億5,473万円	光熱水費	38,000円
繰出金	13億727万円	子どもへの仕送り	24,000円
公債費	18億3,619万円	ローン返済	34,000円
その他	2,120万円	貯金など	400円
計	162億3,217万円	計	300,000円

主要事業の紹介

今年度の一般会計予算を特徴づける主な事業の概要とその予算額を、総合計画の基
本方針に沿ってご紹介します。

人や文化を育むまちづくり

学校教育課 湯布院庁舎（内線 243）

● **教育方針推進事業** 134 万円

児童生徒の一年間の学習の成果を数値として評価し、次年度の取組改善を図るため、全国および県の学力・学習状況調査と市独自の学力定着テストを実施します。

● **改訂教科書等給付事業** 1,742 万円

小学校教科書改訂に伴い、指導書や指導のための教材教具を整備します。

教育総務課 湯布院庁舎（内線 235）

● **学力向上事業** 1,497 万円

基礎学力の定着と向上を図るため、学力向上支援教諭を配置します。

● **小学校英語教育推進事業** 769 万円

国際理解・英語教育・英語活動の推進のため3地域に1人ずつ、ALT（外国語指導助手）を配置します。

● **由布院小学校改築事業** 7 億 7,844 万円

由布院小学校の校舎を改築します。（平成 23 年 6 月末完成予定）

● **小学校施設整備事業** 3 億 7,745 万円

挾間小学校および谷小学校の校舎の耐震補強を行います。

● **中学校施設整備事業** 2,620 万円

挾間中学校および湯布院中学校の校舎の耐震補強を行います。

● **小中学校施設耐震診断事業** 702 万円

由布川小学校体育館・庄内中学校体育館・大津留小学校校舎・塚原小学校校舎の耐震性を調査します。

スポーツ振興課 湯布院 B&G 内（0977-84-2133 直通）

● **総合型スポーツクラブ自立支援事業** 708 万円

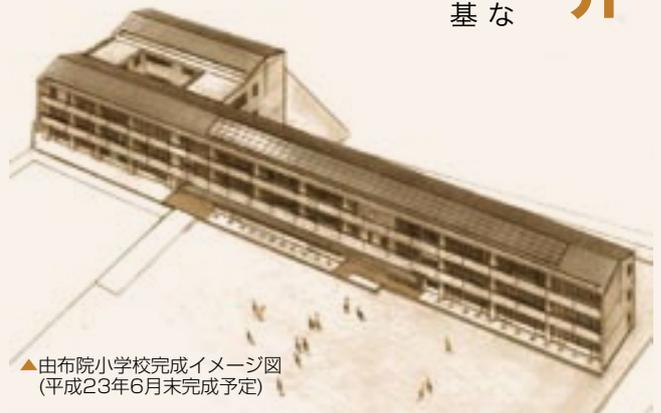
子どもから高齢者まで誰もが参加でき、それぞれの年齢、体力、レベルに応じたスポーツに親しむことができるスポーツクラブの育成を支援します。

● **健康マラソン大会開催事業** 572 万円

誰もが気軽に参加し楽しむことができるような大会を開催し、生涯スポーツの普及を図ります。

● **スポーツセンター耐震診断事業** 508 万円

スポーツセンター宿泊棟の耐震性を調査します。



▲由布院小学校完成イメージ図
（平成23年6月末完成予定）

中高一貫教育推進課 湯布院庁舎（内線 227）

● **中高一貫教育推進事業** 1,580 万円

市内3中学校と由布高等学校との相互乗り入れ授業（英語・数学）により、基礎学力の定着と向上を図るため、各中学校の教員が対応できる体制づくりをします。

生涯学習課 湯布院庁舎（内線 225）

● **放課後子ども教室事業** 647 万円

次世代を担う児童の健全育成を支援することを目的として、放課後等に子どもが安心して活動・学習できる場をつくります。

中央公民館 湯布院公民館（0977-84-2604 直通）

● **体験交流活動事業** 206 万円

市内の小中学生が共同宿泊や体験活動の中で地域の人たちと交流することにより、地域で子どもたちを見守り育てていく「支え合い」の体制づくりをします。

自然環境を保全しながらも活かすまちづくり

環境課 湯布院庁舎（内線 524）

● **地球温暖化対策事業** 130 万円

市の地球温暖化防止の取り組みを推進するために、地球温暖化防止実行計画を策定します。

● **小型合併処理浄化槽設置補助金** 5,028 万円

個人の住宅で使用される小型合併処理浄化槽を設置する費用を助成します。

● **集中処理浄化槽更新整備補助金** 4,651 万円

団地（マンション、別荘地を除く）で使用されている集中処理浄化槽を更新整備する費用を助成します。



▲「由布市地球温暖化協議会」でのエコ洗剤づくり
地球環境にやさしい活動を推進します

誰もが安らげるしくみのまちづくり



▲医療情報キットを冷蔵庫に入れておけば、駆けつけた救急隊員などがすぐに情報を知ることができます

福祉対策課 湯布院庁舎（内線 315）

- **医療情報キット配布事業** 65 万円
要援護者等に対して、氏名や緊急連絡先・かかりつけの医療機関の情報を記入する防災カード等を入れるプラスチック容器（医療情報キット）を配布し、自宅の冷蔵庫に保管してもらい災害緊急時に備えてもらいます。
- **在宅高齢者オムツ等購入補助金** 420 万円
在宅で常時オムツを必要とする高齢者のオムツ代等を助成することで、経済的負担の軽減を図ります。
- **認知症高齢者徘徊見守りシステム利用補助金** 27 万円
徘徊のおそれのある認知症患者を抱える家族の安心を確保するために、家族等が利用する GPS 機器のレンタル初期費用を助成します。
- **オストメイト対応トイレ設置事業** 79 万円
公共施設内の身体障がい者用トイレにオストメイト（人工肛門・膀胱保有者）対応設備を設置します。

健康増進課 湯布院庁舎（内線 365）

- **働く世代への大腸がん検診推進事業** 183 万円
対象年齢（40 歳・45 歳・50 歳・55 歳・60 歳）の方に大腸がん検診の案内を通知し、がん検診の重要性を啓発します。
- **日本脳炎予防接種事業** 1,378 万円
日本脳炎（乾燥細胞培養ワクチン）予防接種の費用を助成します。
- **子宮頸がんワクチン等予防接種事業** 7,274 万円
中学生および高校 1 年生の対象者に子宮頸がんワクチン予防接種の経費を助成します。また、生後 2 ヶ月～4 歳までの対象者にヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン予防接種の経費を助成します。
- **高齢者肺炎球菌予防接種助成事業** 150 万円
70 歳以上の高齢者を対象とし、肺炎球菌予防接種の費用を助成します。



▲特定健診・保健指導で市民の健康づくりを助けます

子育て支援課 湯布院庁舎（内線 303）

- **保育サービス事業** 8 億 1,294 万円
保育所での多様なサービスを推進し、子どもが健やかに生まれ育つ環境を整備します。また、引き続き待機児童の解消や保護者負担の軽減に取り組めます。（保護者の負担軽減にかかる市の独自負担分として 1 億 200 万程度を見込んでいます）
- **放課後児童健全育成事業** 6,836 万円
放課後児童クラブの運営を委託し、放課後に保護者のいない家庭の児童に適切な遊びや生活の場を提供します。また、ゆふいん児童クラブの建設と西庄内児童クラブを改修し、施設環境を整備します。
- **地域子育てサポート事業** 200 万円
子育てひろば「子どもルームはさま」やファミリーサポートセンターの運営を委託し、地域に密着したきめ細かな子育てを支援します。
- **乳児家庭全戸訪問事業** 224 万円
生後 4 ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、養育環境等の把握を行い、養育に関する相談・指導・助言など必要な支援をします。
- **子ども医療費助成事業** 8,211 万円
疾病の早期発見・治療の促進のために、子どもにかかる医療費を助成します。また、助成対象年齢を拡大することにより、医療費負担の軽減を図ります。
- **地域子育て創生事業** 187 万円
地域の実情に応じた創意工夫のある子育て支援活動や環境整備を支援します。（マタニティサポート事業、おすすめ絵本紹介、小児救急ハンドブック配布、多目的トイレベビーチェア設置）



◀誰もが健康に安心して暮らせるように、保健、医療、福祉の連携のとれたサービスを提供します



▲「子どもルームはさま」の子どもたち



▲「健康体操のびのび会」の皆さん

住む人も訪れる人も癒されるまちづくり

商工観光課 湯布院庁舎（内線 514）

- **由布川峡谷整備事業** 700 万円
観光客の安全性・良好な環境の確保のため、老朽化した箇所について整備します。
- **市内観光案内事業** 163 万円
JR 由布院駅構内にある由布院温泉観光案内所に観光案内業務を委託し、市の観光魅力を高めます。
- **空港アクセス対策事業** 280 万円
高速バス湯布院空港線増便にともなう経費を負担し、市の観光振興を図ります。
- **新幹線開通対策事業** 432 万円
九州新幹線全線開通にともなう広告宣伝に取り組み、市の観光 PR を図ります。
- **スポーツ観光交流事業** 87 万円
「広島東洋カープ球団」の激励応援を兼ねた観光宣伝に取り組み、野球教室などのスポーツを通じた交流を図ります。
- **三湯観光交流事業** 65 万円
佐賀県武雄市と熊本県小国町と連携して、広域的な観光 PR やイベントを実施します。



由布川峡谷の歩道や階段を整備します

総合政策課 庄内庁舎（内線 227）

- **交流推進事業** 200 万円
豊かな自然や食材・伝統文化などの地域資源を見つめ直すとともに、市内外の交流を目的とした交流イベントを実施します。
- **YUFU 交流推進事業補助金** 300 万円
交流の推進や人材育成のために、各種団体が予定する先進地視察費用や調査研究費等に対して、1 団体 50 万円を上限に助成します。
- **まちづくり情報機構事業** 266 万円
地域のあらゆる情報発信の活性化を図るため、まちづくり情報機構を新設します。



▲九州新幹線全線開通！
さらなる観光客の誘致に力を入れます



快適で効率的な暮らしが実感できるまちづくり



▲青色パトロール車や備品を整備し、地域の防犯パトロール活動を支援します

都市・景観推進課 挾間庁舎（内線 1253）

- **都市計画マスタープラン策定事業** 1,306 万円
都市計画およびまちづくりの将来像を示した方針、長期的な計画を策定します。

建設課 挾間庁舎（内線 1123）

- **道路新設改良事業** 6 億 4,382 万円
基幹道路網を整備します。（挾間地域 8 路線・庄内地域 10 路線・湯布院地域 6 路線など予定しています）

防災安全課 庄内庁舎（内線 232）

- **安心で安全な地域づくり推進事業** 113 万円
市民の防犯意識の啓発・自主的な防犯活動を推進し、自治会等が行う防犯に関する活動に対し、支援・助成します。

環境課 湯布院庁舎（内線 524）

- **火葬場整備事業** 1,205 万円
火葬場「雲浄苑」の駐車場、待合室の増設など施設環境を整備します。

消防本部 消防本部（097-583-1500 直通）

- **消防無線デジタル化対応推進事業** 1,260 万円
電波法審査基準の改正により消防救急無線をアナログ波からデジタル波に変更するため、電波伝搬調査を行います。

産業振興により実現する実りのまちづくり

農政課 挾間庁舎（内線 1329）

- **中山間地域等直接支払対策事業** 3億96万円
水源かん養機能・洪水防止機能等の確保や、適切な農業生産活動の継続のために中山間地域を支援します。
- **農工商観連携地産地消推進事業** 352万円
「地産・地消・特産品ブランド化推進協議会」を支援し、地産地消の企画、特産品研究開発、人材育成、地域雇用創造を目指します。
- **戸別所得補償制度推進事業** 1,000万円
販売価格が生産経費を恒常的に下回っている作物の生産者に対して、差額相当額を補償することにより、農業経営の安定化および国内作物生産力の確保を図ります。（市の予算は、補償にかかる事務的経費です）
- **川西農村健康交流センター温泉代替掘削事業** 2,000万円
温泉湧出量の確保により、川西農村健康交流センターでの交流人口の増加、地域の活性化を図ります。
- **全国和牛能力共進会对策事業** 98万円
「和牛のオリンピック」と称される全国和牛能力共進会（平成24年度に第10回開催予定）の出場候補牛の生産者に対して、飼養管理指導や飼料経費等を助成します。
- **農山漁村活性化プロジェクト支援事業** 1,455万円
用水量の確保と農業経営安定化のため、塚原地区農業用水路を整備します。



▲由布市産牛や農産物のブランド化を目指し、農林業を支える多様な担い手を育成します



▲「プレミアム付きお買い物券」は1セット10,000円での販売で、11,000円のお買い物ができます（10%のプレミアム）。

商工観光課 湯布院庁舎（内線 514）

- **お買い物券発行事業補助金** 1,150万円
商工振興・経営支援のため、市内各商工会の「プレミアム付きお買い物券」の発行経費を助成します。

市民とともにつくる誇れるまちづくり



▲OBSラジオ毎週土曜日午後1時～午後1時55分「ゆふぼん！」でいろいろな情報をお届けします



▲由布コミュニティ事業「平石地区スタッフ会議」地域の課題や今後の取り組みについて一緒に考えます

総務課 庄内庁舎（内線 208）

- **地域情報発信事業** 2,208万円
地域の多彩な情報の発信、産業の活性化を図るため、OBSラジオ等での番組制作および情報提供を委託します。
- **ホームページ仕様書等設計事業** 169万円
市公式ホームページのリニューアルに向けて、仕様書設計などを行います。

総合政策課 庄内庁舎（内線 227）

- **NPO等まちづくり団体活動推進事業** 88万円
NPO（非営利団体）やその他の関係団体、市民との情報交換の場として「市民交流会」を開催し、NPOとの協同事業を実施します。
- **田舎で暮らし隊事業** 403万円
主に3大都市圏から「田舎で暮らし隊」隊員を募集し、高齢化が進む集落に移住してもらい、地域住民の生活支援や見守り活動など活躍してもらいます。
- **小規模集落支えあい事業** 123万円
小規模集落の存続や活性化のために、地域住民が自主的に取り組む活動を支援します。
- **市民地域満足度調査** 399万円
これからの市の施策へ反映させるため、地域における満足度の意識調査を実施します。

地域振興課 挾間庁舎（内線 1223） 庄内庁舎（内線 116） 湯布院庁舎（内線 216）

- **地域活力創造補助金** 600万円
自治区や地域の団体等の行う地域活性化に向けた取り組みを支援し、地域住民が活力に満ち、地域に誇りを持って暮らせる地域づくりをとともに目指します。

由布市職員・消防職員人事異動

由布市の異動したまちづくりスタッフとファイヤーマンをご紹介します。

4月1日付、()は旧職

総務部

▽部長(教育委員会教育次長) 島津義信
▽総務部参事兼総務課長(総務課長) 佐藤式男

【**総務課**】▽主査(総合政策課主査) 利光貴之▽主査(商工観光課主任) 北崎英梨
▽主任(庄内地域振興課主事) 奥健二郎
【**人事職員課**】▽課長(中高一貫教育推進課長) 平井俊文▽主幹(同課係長) 生野成美

【**防災安全課**】▽課長(消防本部総務課課長補佐) 日野忠博▽主査(福祉対策課主査) 佐藤和俊

【**総合政策課**】▽課長補佐(行財政改革推進課主幹) 奈須千明▽主幹(建設課主幹) 衛藤哲男▽係長(同課主査) 佐藤雄三▽主査(保険課主査) 秋吉剛▽主事(新採用) 柏木啓郎

【**財政課**】▽課長補佐(商工観光課課長補佐) 梅尾英俊▽主査(契約管理課主査) 松本知行

【**税務課**】▽課長(庄内地域振興課長) 生野博文▽主幹(防災安全課主幹) 田代浩樹▽係長(総務課係長) 佐藤重喜▽係長(挾間地域振興課主査) 藤川祐子▽主任(教育総務課主任) 秋吉政宏

【**収納課**】▽課長補佐(農政課主幹) 板井

信彦▽主事(湯布院地域振興課主事) 梅木庸平

【**市民課**】▽課長(挾間地域振興課課長補佐) 安部千鶴子▽課長補佐(庄内公民館主幹) 田嶋国広▽主幹(同課係長) 砂田剛士▽主査(総務課主査) 生野陽子

【**人権・同和対策課**】▽課長(湯布院地域振興課長) 足利良温▽課長補佐(同課主幹) 加藤裕三

【**契約管理課**】▽課長(会計課課長補佐) 森山金次

健康福祉事務所

【**福祉対策課**】▽課長補佐(農政課課長補佐) 伊藤博通▽係長(同課主査) 河野妙子▽係長(農業委員会係長) 渡邊隆司▽主査(子育て支援課主査) 河野桐子▽主査(挾間地域振興課主査) 福隅満▽主査(挾間地域振興課主任) 佐々木史朗

【**子育て支援課**】▽課長(保険課長) 津田淑子▽課長補佐(健康増進課主幹) 麻生清美▽主事(新採用) 汐月達也

【**健康増進課**】▽課長補佐(湯布院地域振興課課長補佐) 衛藤純司▽主査(庄内地域振興課主査) 黒木達哉▽主査(挾間地域振興課主査) 栗林美保▽主任(保健

師(総務課付) 麻生美由希▽派遣保健師(地域包括支援センター) 森山幸恵▽保健師(新採用) 高野寛子

【**建設課**】▽課長補佐(庄内地域振興課主幹) 佐藤久生▽課長補佐(湯布院地域振興課主幹) 大嶋幹宏▽主幹(健康増進課主幹) 生野浩▽主査(水道課主任) 姫野さおり▽主事(新採用) 田代正太郎

【**都市・景観推進課**】▽課長(人事職員課長) 柚野武裕▽課長補佐(同課主幹) 江藤修一▽主査(湯布院地域振興課主査) 畠中勇▽主査(同課主任) 佐藤洋造

【**水道課**】▽課長(環境課長) 秋吉一郎▽主幹(農政課主幹) 三ヶ尻郁夫▽主任(環境課主任) 小代晋太郎

【**環境商工観光部**】

【**環境課**】▽課長(教育総務課課長補佐) 生野重雄▽課長補佐(産業廃棄物対策課課長補佐) 森山徳章▽課長補佐(農業委員会次長) 高田英▽係長(スポーツ振興課係長) 長井雅之▽主事(新採用) 竹尾涼

【**商工観光課**】▽課長補佐(湯布院地域振興課課長補佐) 溝口隆信▽主査(観光庁派遣) 高田信明▽主査(財政課主査) 梅野朋美▽主事補(新採用) 上村真路

【**産業建設部**】

▽部長(監査・選挙管理委員会局長) 佐藤忠由

【**農政課**】▽課長(都市・景観推進課長) 工藤敏文▽課長補佐(庄内地域振興課課長補佐) 平松康典▽課長補佐(保険課課長補佐) 松山忠憲▽係長(庄内地域振興課係長) 土屋安廣▽主査(建設課主査) 安部潔徳

【**建設課**】▽課長補佐(庄内地域振興課主幹) 佐藤久生▽課長補佐(湯布院地域振興課主幹) 大嶋幹宏▽主幹(健康増進課主幹) 生野浩▽主査(水道課主任) 姫野さおり▽主事(新採用) 田代正太郎

【**都市・景観推進課**】▽課長(人事職員課長) 柚野武裕▽課長補佐(同課主幹) 江藤修一▽主査(湯布院地域振興課主査) 畠中勇▽主査(同課主任) 佐藤洋造

【**水道課**】▽課長(環境課長) 秋吉一郎▽主幹(農政課主幹) 三ヶ尻郁夫▽主任(環境課主任) 小代晋太郎

【**環境課**】▽課長(教育総務課課長補佐) 生野重雄▽課長補佐(産業廃棄物対策課課長補佐) 森山徳章▽課長補佐(農業委員会次長) 高田英▽係長(スポーツ振興課係長) 長井雅之▽主事(新採用) 竹尾涼

【**商工観光課**】▽課長補佐(湯布院地域振興課課長補佐) 溝口隆信▽主査(観光庁派遣) 高田信明▽主査(財政課主査) 梅野朋美▽主事補(新採用) 上村真路

【**産業建設部**】

▽部長(監査・選挙管理委員会局長) 佐藤忠由

【**農政課**】▽課長(都市・景観推進課長) 工藤敏文▽課長補佐(庄内地域振興課課長補佐) 平松康典▽課長補佐(保険課課長補佐) 松山忠憲▽係長(庄内地域振興課係長) 土屋安廣▽主査(建設課主査) 安部潔徳

【**建設課**】▽課長補佐(庄内地域振興課主幹) 佐藤久生▽課長補佐(湯布院地域振興課主幹) 大嶋幹宏▽主幹(健康増進課主幹) 生野浩▽主査(水道課主任) 姫野さおり▽主事(新採用) 田代正太郎

【**都市・景観推進課**】▽課長(人事職員課長) 柚野武裕▽課長補佐(同課主幹) 江藤修一▽主査(湯布院地域振興課主査) 畠中勇▽主査(同課主任) 佐藤洋造

【**水道課**】▽課長(環境課長) 秋吉一郎▽主幹(農政課主幹) 三ヶ尻郁夫▽主任(環境課主任) 小代晋太郎

【**環境課**】▽課長(教育総務課課長補佐) 生野重雄▽課長補佐(産業廃棄物対策課課長補佐) 森山徳章▽課長補佐(農業委員会次長) 高田英▽係長(スポーツ振興課係長) 長井雅之▽主事(新採用) 竹尾涼

湯布院振興局

【地域振興課】▽課長(市民課課長補佐)日野正彦▽課長補佐(中央公民館課長補佐)小野直子▽課長補佐(建設課課長補佐)佐藤眞二▽主幹(水道課主幹)大久保隆介▽係長(生涯学習課係長)新田祐介▽主査(会計課主査)安東まみ▽主査(商工観光課主査)生野敏博▽主査(学校教育課主査)藤原和久▽主任(収納課主任)川野貴載

議会事務局

▽主査(福祉対策課主査)三重野鎌太郎

会計課

▽課長補佐(農政課課長補佐)田代勝美
▽主査(総務課主査)阿部八重

農業委員会

▽次長(建設課課長補佐)後藤恵二▽主幹(小松寮主幹)清藤勝己

監査・選挙管理委員会

▽事務局長(挾間地域振興課長)二宮正男

教育委員会

▽教育次長(税務課長)河野眞一
【教育総務課】▽課長補佐(湯布院地域振興主幹)安部文弘▽主査(同課主任)小野裕美子▽主事(新採用)原秀志
【学校教育課】▽主幹(指導主事)二宮保秀▽係長(税務課係長)平野浩一郎▽主査

(商工観光課主査)八川薫

【幼稚園】▽由布院幼稚園長(同幼稚園課長補佐)緒方啓子▽阿南幼稚園主幹(谷幼稚園主幹)佐伯邦子▽挾間幼稚園長(阿南幼稚園課長補佐)黒川京子▽同幼稚園教諭(新採用)衛藤佳織▽由布川幼稚園長(西庄内幼稚園課長補佐)甲斐順子▽谷幼稚園主任教諭(由布川幼稚園主任教諭)藤原章子▽西庄内幼稚園教諭(挾間幼稚園教諭)川野眞輝子▽由布川幼稚園教諭(新採用)福山迪子
【中高一貫教育推進課】▽課長(学校教育課参事)中和田久
【生涯学習課】▽課長(防災安全課長)利光浩

【スポーツ振興課】▽主幹(都市・景観推進課主幹)首藤康志▽主幹(福祉対策課主幹)伊勢戸隆司

【中央公民館】▽館長(契約管理課長)渡邊定▽課長補佐(挾間地域振興課課長補佐)後藤幸治

【庄内公民館】▽主幹(収納課主幹)佐藤俊吾

【学校給食センター】▽所長(小松寮次長)一法師恵樹

派遣・出向

▽地産地消・特産品ブランド化推進協議会主幹(農政課主幹)首藤啓治▽地域包括支援センター(健康センター)保健師)柴田玲子▽大分県市町村職員共済組合主査(議会事務局主任)吉野貴俊▽大分県法務室主任(再任)佐藤孝宣

▽大分県後期高齢者医療広域連合主査(再任)太田和章▽大分地域介護認定審査会主任(再任)佐藤忠文、河野展也

退職者 3月31日付け

▽(総務部長)野上安一▽(産業建設部長)佐藤省一▽(挾間振興局長)目野直文▽(市民課長)佐藤鈴江▽(人権・同和对策課長)工藤眞一▽(子育て支援課長)宮崎直美▽(水道課長)庄安人▽(生涯学習課長)安部和子▽(中央公民館長)菅正則▽(挾間幼稚園長)後藤アイ子▽(学校給食センター)所長)森律子▽(健康増進課課長補佐)土師卓造

消防本部

▽消防長(環境商工観光部参事兼産業廃棄物対策課長)加藤康男▽総務課課長補佐(庄内出張所副所長)佐藤克文▽警防課長(予防課長)土屋雅孝▽同課課長補佐(予防課係長)佐藤政也▽予防課長(同課課長補佐)甲斐忠▽同課課長補佐(由布市消防署副署長)大久保篤▽同課係長(庄内出張所係長)油布健太郎▽主事(新採用)首藤渉▽主事(新採用)重松浩平▽主事補(新採用)秦広樹
【消防署】▽署長(警防課長)日野三好▽副署長(警防課主幹)高橋康弘▽係長(湯布院出張所係長)古長清治▽係長(湯布院出張所係長)工藤純一▽係長(庄内出張所係長)河野桂一▽主査(庄内出張所主任)平松幸三▽主任(庄内出張所主任)大野哲典▽主任(湯布院出

張所主任)鶴原慶介▽主事(湯布院出張所主事)溝口勝規▽主事(庄内出張所主事)仲摩歩▽主事補(庄内出張所主事)麻生智裕

【庄内出張所】▽副所長(庄内出張所主幹)大野陽三▽副所長(湯布院出張所主幹)宮本秀明▽主幹(湯布院出張所係長)平村康夫▽主幹(由布市消防署係長)小野貴宏▽係長(湯布院出張所係長)工藤英之▽係長(湯布院出張所係長)大杉嘉則▽主査(由布市消防署主査)佐藤啓▽主事(由布市消防署主事)姫野大樹▽主事補(由布市消防署主事補)元雄祐二▽主事補(由布市消防署主事補)大久保祐▽主事補(由布市消防署主事補)豆田裕平

【湯布院出張所】▽湯布院出張所長(同出張所副署長)市川信一▽副所長(由布市消防署主幹)佐藤幹夫▽主幹(庄内出張所係長)亀田博▽係長(由布市消防署係長)都甲洋康 係長(由布市消防署係長)眞崎克也▽係長(庄内出張所係長)佐藤憲一▽主査(由布市消防署主査)望月修平▽主事補(由布市消防署主事補)坂光希▽主事補(由布市消防署主事補)工藤裕基▽主事補(由布市消防署主事補)田中悟

退職者 3月31日付け

▽(消防本部消防長)平松十四生▽(由布市消防署長)杉丸勝樹▽(湯布院出張所長)首藤美紀博▽(庄内出張所副所長)佐藤清勝

由布コミュニティ(地域の底力再生)事業 新規実施地区を募集します!

問い合わせ●総合政策課地域振興係 ☎ 097-582-1111 (内線 227)

由布市では、年々進む高齢化や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな問題を抱える自治区において、その課題解決や活性化を住民自らが主体的に考え、実践するための支援事業として、平成18年度から「由布コミュニティ(地域の底力再生)事業」を実施しています。

平成23年度も次の要領で実施地区を募集しますので、ぜひ地域コミュニティ再構築のきっかけづくりの場にしてください。たくさんの方がご応募をお待ちしています。

募集地区

挾間、庄内、湯布院地域から各1地区。1地区の規模は、行政区または小学校区単位とします。

募集期限 5月13日(金)まで

応募方法

総合政策課、各振興局地域振興課に備え付けの応募用紙に必要事項を記入の上、提出してください。

助成金

この事業は、原則3年間継続事業としています。
1地区(1年目10万円、2年目30万円、3年目30万円を限度して助成)

選考方法

応募多数の場合は、抽選または審査会を開催して選出します。



地産地消と特産品の ブランド化

を目指して

2月27日、「地産地消・ブランド化シンポジウム2011」がさまざま未来館で開催されました。当日は、農業や観光、商工関係者ら150人が参加しました。はじめに、観光農業総合プロデューサーの工藤順一さんが、「生き残れる観光農業と地域活性化と振興」と題して講演。山形県寒河江市出身の工藤さんは、JAさがえ西村山で「さくらんぼ」のオーナー制を全国に売り出したことで知られており、農林水産省の観光カリスマにも認定されています。「知恵を使って、創意工夫が重要。地域活性化に向けて頑張ってください。」と参加者らに呼びかけました。また、続いて行われたパネルディスカッションでは、大分大学経済学部の松隈久昭教授を迎え、農産生産者から商工、観光関係者ら6人の市民が、現在の活動や課題などを討論しました。会場内から意見が出るなど、有意義なシンポジウムになりました。



「農業は無限の観光資源」と提唱する工藤さん





安いで安全な 地域づくり推進事業のお知らせ

由布市では、平成23年度から自主的な防犯活動の推進と市民の防犯意識の高揚・啓発を図るため、防犯活動団体等が行う防犯等に関する活動に対して、活動用品の支給をはじめとした支援を行います。

事業 A 防犯活動用品の支給 (タスキ)

(対象) 各小・中学校区で、児童や生徒の登下校時の見守り活動を行う団体等

事業 B 防犯活動用品の支給 (青色回転灯・パトロールステッカー等)

(対象) 大分南地区防犯協会に登録されている団体で、市長もしくは警察が青色回転灯を使ってパトロール活動をするのを認めた団体

事業 C 防犯活動用品の支給 (帽子・ジャンパー・ベスト・腕章外)

(対象) 大分南地区防犯協会に登録されている自主防犯パトロール隊
※ただし3万円を上限とします。

事業 D 防犯教室や講習会への講師の派遣 (市内で開催する場合に限る)

(対象) 自治区や老人会、PTAなど

事業 E 由布市青色回転灯装着車の貸し出し

(対象) 市長もしくは警察が青色回転灯を使ってパトロール活動をするのを認めた団体

事業 F 青パト防犯パトロール隊への活動費の補助

(対象) ・市長もしくは警察が青色回転灯を使ってパトロール活動をするのを認めた団体で、青色回転灯装着車を所有する団体
・年間のパトロール実施回数が24回以上であること
※ただし3万円を上限とします。

◎詳細については、各事業ごとに異なりますので、お問い合わせください。

問い合わせ 防災安全課交通防犯係 ☎097-582-1111(内線232)

花いっぱいを写真に

市民の皆さんが育てたコスモスや菜の花を撮影した写真を作品とした「花いっぱい写真コンクール」が、昨年10月から今年2月にかけて行われました。4人の方から5点の作品の応募がありました。3月10日、建設課花いっぱい係で審査を行い、次のとおりの結果となりましたので、お知らせします。



賞	出品者	題名	撮影場所	賞品
最優秀賞	該当なし	—	—	—
優秀賞	阿部光宏 (庄内町大龍)	コスモス街道	庄内町湊	図書カード 3,000円分
優秀賞	松田圭二 (挾間町七蔵司)	あの、春の日	庄内町深谷	図書カード 3,000円分
佳作	木崎清人 (挾間町東院)	コスモス	挾間町サントピアふるの フラワーロード	図書カード 1,000円分
佳作	松田圭二 (挾間町七蔵司)	春を告げて	庄内町深谷	図書カード 1,000円分
佳作	坂本善徳 (庄内町直野内山)	コスモス街道	庄内町直野内山	図書カード 1,000円分



軽自動車税減免のお知らせ

軽自動車税を所有する人で、身体（精神）に障がいがあり、一定の要件に該当する場合は、申請により軽自動車税が減免されます。

▼対象となる軽自動車（バイクを含む）

- ・心身障がい者が所有し、本人自らが運転（または生計を共にする家族が運転）する車両
- ・18歳未満（毎年4月1日現在）の心身障がい者と生計を共にする家族が所有し、その心身障がい者のために使用する車両
- ・単身で生活する心身障がい者が所有し、当該障がい者と常時介護する者が継続して日常的に運転する車両

▼手続きに必要なもの

- ① 印かん
- ② 証明できるもの
（身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等）
- ③ 平成23年度軽自動車税納付書
（※5月11日水）に発送します。）
- ④ 運転免許証
- ⑤ 減免申請書（※市役所の窓口にあります。）

▼申請書の提出先

- ・ 税務課（庄内庁舎）
- ・ 地域振興課（狭間・湯布院庁舎）

※該当する方は、**5月24日（火）までに申請すると減免されます。**
受付期間を過ぎますと減免を受けられませんので、ご注意ください。

▼注意事項

- ① 減免を受けられるのは、自動車税・軽自動車税を通じて、1人につき1台です。
- ② 昨年度減免をされた方も、毎年申請が必要です。

▼該当する各障がいの等級

障がい等の区分	身体障害者手帳の等級
視覚障害	1級～3級および4級の1
聴覚障害	2級および3級
平衡機能障害	3級
音声機能障害	3級 ※喉頭摘出の場合に限る
上肢不自由	1級および2級
下肢不自由	1級～6級 ※生計同一者・常時介護者運転の場合は1級～3級
体幹不自由	1級～3級および5級 ※生計同一者・常時介護者運転の場合は1級～3級
上肢機能障害	1級および2級
移動機能障害	1級～6級 ※生計同一者・常時介護者運転の場合は1級～3級
心臓機能障害	1級および3級
じん臓機能障害	1級および3級
呼吸器機能障害	1級および3級
ぼうこう・直腸機能障害	1級および3級
小腸機能障害	1級および3級
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	1級～3級
肝臓機能障害	1級～3級

療育手帳は総合判定A、精神障害者保健福祉手帳は障害等級1級が対象となります。戦傷病者手帳についても障がいにより該当する場合がありますので、詳しくは税務課までお問い合わせください。

軽自動車税を口座振替されている皆さんへ

軽自動車税を口座振替されている方は、納期限の**5月31日（火）**に指定の口座から引き落としされます。振替が確認できた方には、6月中旬に納税証明書（継続検査用）を郵送します。なお、納期限の前日（通常は5月30日）までの車検には、前年度の納税証明書をご使用できます。

※もし、口座振替の方で納税証明書が届く前に車検を受けられる場合は、お手数ですが、軽自動車税が引き落とされた通帳（記帳済みのもの）を市役所の証明窓口にお持ちください。無料で納税証明書を交付しますので、よろしくお願ひします。

問い合わせ ▶ 税務課 ☎097-582-1111（内線146・147）

湯布院福祉センター

新築に伴う移転のお知らせ

既存の福祉センターの老朽化に伴い、合併以前から建設が予定されていた「湯布院福祉センター」は、現在、完成に向けて建設中です。

平成23年5月1日から、由布市社会福祉協議会湯布院事務所および由布市地域包括支援センター湯布院事務所は、「湯布院福祉センター」へ移転しますのでお知らせします。

新住所は次のとおりです。

由布市湯布院町川上2863番地（湯布院健康温泉館隣）

なお、電話番号およびFAX番号は今までと変更はありません。

- 由布市社会福祉協議会湯布院事務所 ☎0977-84-3610 FAX0977-85-4921
- 由布市地域包括支援センター湯布院事務所 ☎0977-85-4700 FAX0977-85-4777



ねたきり老人等介護手当について

由布市では、在宅のきたきり老人および重度認知症老人の介護者に対して、介護の労をねぎらい経済的負担の軽減を図り、ねたきり老人等の福祉の増進を図ることを目的に「由布市ねたきり老人等介護手当」を支給しています。

ねたきり老人等とは、在宅でねたきりおよび、知的能力の衰えから生ずる認知症状により、日常生活を営むのに常時他の者の介護を必要とする状態が6カ月以上続いている65歳以上の方をいいます。支給要件および手当の額については、次のとおりです。

■支給要件

1. 由布市に1年以上住所を有する方
2. 介護保険法の規定による要介護度4または5の方
3. 居宅において終日臥床し、日常生活において常に介護を有する方

■介護手当額

ねたきり老人等1人につき月額6,000円

※一部支給制限があるので、詳しくはお問い合わせください。

あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう 施術料助成対象者の年齢引き上げについて

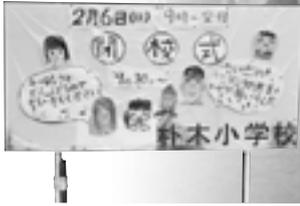
老人の健康保持と老人福祉の向上を図ることを目的に、現在、由布市では「あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう施術料助成」を行っています。今年4月より、本助成対象者が現行の「60歳以上」から「65歳以上」に引き上げられましたのでお知らせします。

各庁舎の窓口において補助券の申請をされる方については、申請時の年齢にご留意ください。



朴木の丘 オレンジ色の校舎

朴木小学校が閉校



児童の教育環境の向上を目的とした「由布市立小学校規模適正化推進計画」のもと、3月31日をもって閉校した朴木小学校。今年4月からは、挾間小学校に統合しました。今回、1,127人の卒業生の思い出とともに、朴木地域とともに歩んだその111年間の歴史を振り返ります。

2月6日(日)には、閉校記念式典が同校の講堂で行われ、保護者や卒業生をはじめ、多くの来賓や地域住民の方々など約200人が出席しました。式典前、「お別れの会」と題し



▲大正琴を取り入れて「荒城の月」を演奏

続いて行われた式典では、渡邊真由美校長が「長い間、多大な支援をいただいた地域の皆さんに感謝。今後朴木の子どもたちを見守ってください。」とあいさつ。児童を代表して、6年生の進藤芽依さんがメッセージで「少人数でしたが、この学校で学び体験したことを生かして、これからも6人全員で頑張りたいと思います。」とあいさつしました。

て朴木小学校の児童により、地域や小学校の歴史や暮らしなどを、老人会など朴木ゆかりの方に聞いてまとめた学習の成果を発表。そして、昭和56年から全校の歌に取り入れている「山の子の歌」を児童全員で合唱し、卒業生や地域の方と一緒に伝統の「荒城の月」を演奏しました。練習の成果を十分発揮したすばらしい演奏に、出席者から大きな拍手が送られました。

最後には出席者全員で校歌を合唱し、渡邊校長と児童代表の高野祐介くんが清永教育長に校旗を返納して式典が終了しました。



▲校内には卒業写真やアルバムなどを展示



温かみのある廊下



由布市立 朴木小学校の沿革

- ▶明治 8年 3月 狭間学校朴木分校設立
- ▶明治10年 6月 朴木小学校創立
- ▶明治19年10月 朴木簡易学校と改称
- ▶明治25年12月 由布川尋常小学校朴木教場と改称
- ▶明治32年10月 午王(ごう)に新築移転(開校記念日)
- ▶明治40年 4月 朴木尋常小学校創立
- ▶明治44年 6月 由布川第二尋常小学校と改称
- ▶大正 3年 5月 由布川尋常小学校と改称
- ▶昭和 4年 4月 由布川村立朴木尋常小学校と改称
- ▶昭和16年 4月 学制改革により朴木国民学校と改称
- ▶昭和22年 4月 由布川村立朴木小学校と改称
- ▶昭和30年 4月 町制施行により大分郡狭間町立朴木小学校へ改名
- ▶平成17年10月 町村合併により由布市立朴木小学校と改称
- ▶平成23年 3月 由布市立小学校規模適正化推進計画により由布市立朴木小学校閉校

地域唯一の教育機関、さらに校區唯一の教育機関として、愛され続けてきた朴木小学校が、平成23年3月末をもって、その使命を終え、11年もの長い歴史に終止符を打ちました。かつて、多い時には130人を超える児童がいた時期もありましたが、地域の過疎・少子化が進み、閉校に至ったことは残念でなりません。閉校記念式には、歴代の校長先生をはじめ、本当に多くの方が足を運んでいただき、一人ひとりにそれぞれ思い出があり、私自身も懐かしく思いました。朴木小学校に対する自然豊かな愛着の深さを感じられました。閉校後の母校跡地については、今後は地域を含めて協議していただき、ぜひ有効活用できますようお願いしたいと思えます。最後になりましたが、これまで朴木小学校を愛して協力していただいた皆さん、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

自然豊かな母校に感謝



首藤 明登さん
校区地域代表
閉校記念事業実行委員長

さようなら朴木小学校

保護者を代表して一言お礼申し上げます。111年間の歴史を持つ我が母校、朴木小学校の閉校が決まりこの1年間は寂しさと不安で言葉にならない思いでした。しかし、地域の方々と一つ一つ行事を重ねて行くうちに、本当に思い出深いすばらしい学校だと気づかされました。昨今「無縁社会」と言われ、心の孤独化が問題視される中、我が校のように、地域や先生方と常に交流ができた子どもたちはとても幸せだったと感じています。この学校で学んだ豊かな心、人を思いやる優しい気持ちを、これからもずっと持ち続けてもらいたいと思えます。最後に、愛郷の思いを込めて、この朴木地域が朴木小学校を拠点に活躍することを願って止みません。111年間、朴木小学校をご支援、ご協力していただいたすべての皆さんに心から感謝いたします。そして、私たちの中につまでも輝き続ける朴木小学校、さようなら。



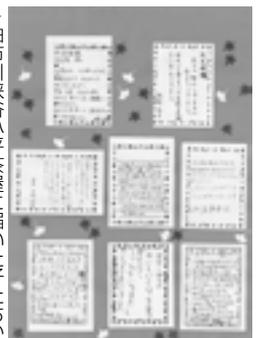
高野 礼子さん
保護者代表
閉校記念事業実行副委員長



閉校記念樹(左)と閉校記念碑(右)



▶閉校記念の一環として、卒業生でもある福岡市在住のわたなべあけみさんの作品展が未来クラブの協力ではさま未来館で開催されました。



▶由布川峡谷小平茶屋に届いた子たちからの感謝の寄せ書き

朴の木の花言葉「誠実な友情・友愛」を大切に 思い出と誇りよ永遠に…

健康診査のお知らせ

対象は19歳以上の由布市民（年内1人1回）

生活習慣を見直し

健康診査を受けましょう

19～39歳
になる方

- 健診料 胸部レントゲン 希望者 1,340円（夜間1,470円）
健康診査 1,000円
 - 場 所 ①集団健診（地区での健診）
 - 持ってくる物 住所・年齢の確認できるもの
- ※19～39歳の方は由布市民であれば加入保険は関係ありません。

40～74歳
になる方

- 国保加入者
- 健診料 1,000円
 - 場 所 ①集団健診（地区での健診）
②市内指定医療機関（15医療機関）
③施設の健診（人間ドック）… 特定健診項目以外は自費
・県厚生連（鶴見）健康管理センター ☎0977-23-7112
・大分総合検診センター（OHC） ☎0977-66-4113
 - 持ってくる物 健康保険証・受診券

協会けんぽ・共済・健保組合等の加入者

保険者によって異なります。保険者にご確認ください。

75歳以上
の方

- 健診料 無 料
 - 場 所 ①集団健診（地区での健診） ②市内指定医療機関
③後期高齢者医療広域連合指定医療機関
- ※指定医療機関については由布市役所保険課 高齢者医療係にお問い合わせください。
- 持ってくる物 健康保険証・受診券

●健康診査注意事項

- ◎40歳以上の方は、「受診券」と「健康保険証」が必要となります。
忘れた場合は、健診を受けることができませんので、必ずご持参ください。
- ◎受診券は、あなたの加入する各医療保険者より送付されます。（受診券については加入保険者へお問い合わせください）
- ◎生活保護を受給されている方には、市より受診券が送付されます。
- ◎75歳になる方は誕生日前（各医療保険者）と誕生日後（後期高齢者）どちらかの健診を選択ください。
- ◎重複して受診した場合は、本人に費用を負担していただく場合があります。

●検診項目・自己負担額

	内 容	
結核がん検診	胸部X(エックス)線	
健康診査	問診・身体計測・(40～74歳の方：腹囲測定)・血圧測定・尿検査(蛋白・糖) 血液検査(糖・脂質・肝機能・腎機能・貧血)・(詳細検診)心電図・眼底検査	
肝炎ウイルス検査	今年度40歳になる方および過去に検査を受けていない方 《過去に検査を行った方は実施できません》	無料
オプション ※集団健診の料金	尿細胞診	1,050円(夜間・休日1,150円)
	尿酸(痛風)検査	130円
	前立腺がん検診(男性)	2,000円(夜間・休日2,200円)

●国保・後期高齢者の方のお問い合わせ

(受診券に関すること) 保 険 課	☎0977-84-3111	国 保 係 (内線 332) 高齢者医療係 (内線 334)
(健診日程に関すること) 健康増進課	☎0977-84-3111	(内線 363・365・382)

平成23年度

がん検診

自覚症状がないからこそ

定期的ながん検診を受けましょう

●実施場所 集団健診（地区での健診）

※健診場所・日程などは、4月末の自治回覧でお知らせします。

●対象・検診料金(自己負担金)

検診名	対象者	自己負担金
胃がん検診	40歳以上	1,000円
大腸がん検診	40歳以上	500円
喀たん検査（肺がん）	40歳以上	700円
子宮頸がん検診	20歳以上	1,000円
乳がん検診	40歳以上（女性）	1,000円
骨密度検診	女性がん検診と同時実施	1,500円 (休日1,650円)

がん検診問診票は
当日会場でお渡しします。

狭間健康センター・庄内保健センター・湯布院
庁舎健康増進課でも事前に配布しています。



胃がん

- 減少傾向だが、がん死亡の第2位
- 患者数は最多
- 早期がんの5年生存率は98.4%

検診方法 胃エックス線検査

発泡剤とバリウムを飲みエックス線で撮影します。

肺がん

- がん死亡の第1位
- 喫煙により危険が高まる
- 進行すると急激に生存率が低下する

検診方法 胸部エックス線検査・喀たん細胞診

喀たん対象者
 ①40歳以上で6ヵ月以内に血痰があった人
 ②50歳以上で喫煙指数（一日の喫煙本数×喫煙した年数）が600以上の人
 ③60歳以上で喫煙したことがある人
 ①②③のいずれかに該当する方は胸部レントゲンを受けた際に喀たん検査をお勧めします。

乳がん

- 30～40歳代の女性で乳がんが増加
- 早期がんの5年生存率は98.5%と高い
- 早期であれば乳房を残すことも可能

検診方法 マンモグラフィ

マンモグラフィ検査は、乳房をプラスチック版で挟んで扁平にしてエックス線で撮影します。

子宮頸がん

- 子宮頸がんは子宮の入り口部分に発生
- 早期がんの5年生存率は92.1%
- 20～30歳代の若い女性に増加傾向
- 20歳から定期的に検診を！

検診方法 子宮頸部細胞診

子宮の入り口付近の細胞をこすり取り、がん細胞がないかを顕微鏡で検査します。

大腸がん

- 男女とも増加
- 女性のがん死亡の第1位
- 早期がんならほぼ100%完治
- ▶早期発見・早期治療がカギ！

検診方法 便潜血反応検査

便潜血検査で大腸からの出血の有無を調べます。
検査容器は集団会場および湯布院庁舎健康増進課・狭間健康センター・庄内保健センターで配布しています。

女性特有のがん検診・働く世代への大腸がん検診

下記の方は、無料で乳がん・子宮がん・大腸がん検診が受診できます。対象者にはクーポン券が6月以降送付されます。

乳がん・大腸がん	子宮頸がん
S45年4月2日～S46年4月1日	H 2年4月2日～H 3年4月1日
S40年4月2日～S41年4月1日	S60年4月2日～S61年4月1日
S35年4月2日～S36年4月1日	S55年4月2日～S56年4月1日
S30年4月2日～S31年4月1日	S50年4月2日～S51年4月1日
S25年4月2日～S26年4月1日	S45年4月2日～S46年4月1日

●がん検診のお問い合わせ 健康増進課 ☎0977-84-3111（内線363・365）

肝炎治療に対する

医療費助成制度のお知らせ

現在、肝炎治療を受けられる方を対象に医療費の助成を行っています。

対象医療

- ① B型・C型ウイルス性肝炎に対するインターフェロン治療
(根治目的のもの)
- ② B型ウイルス性肝炎に対する核酸アナログ製剤治療

■助成金額 自己負担額が、世帯の所得に応じて月額1万円または2万円に軽減されます。

■対象者 大分県内に住民票を有する方、対象となる医療は保険適用となっているものに限られます。助成期間は原則1年間ですが、核酸アナログ製剤治療については、医師が治療の継続が必要と認める場合更新することができます。

■手続方法 最寄りの保健所に必要書類を添えて申請してください。
(必要書類)

- ①交付申請書(申請書は保健所等で配布しています)
- ②医師の診断書
- ③健康保険者証等の写し
- ④世帯全員の住民票の写し
- ⑤世帯全員についての市町村税(所得税)課税年額を証明する書類

肝炎ウイルス無料検査について

ウイルス性肝炎の早期発見、早期治療を促進するため、保健所および医療機関でB型・C型肝炎ウイルスの無料検査を実施しています。

●対象者 今までに肝炎ウイルス検査を受けたことがない人で、健康増進事業などによる検査対象となっていない方

受診方法

- ①最寄りの保健所で受診する方法
- ②お近くの医療機関で受診する方法

手続

- ①保健所の場合は、事前電話予約が必要です。
- ②医療機関の場合は、保健所が発行する「肝炎ウイルス検査受診票」が必要です。

問い合わせ◆中部保健所由布保健部 ☎097-582-0660・健康増進課健康増進係 ☎0977-84-3111 (内線365)

募集 第22回 豊の国ねんりんピック シルバー作品展

- ◆出品者資格 県内在住者で60歳以上(昭和27年4月1日以前に生まれた人)のアマチュアの方
- ◆出品作品 ①出品者により創作したもので、未発表のものとする。②各部門とも1人1点
- ◆出品料 無料(作品搬入および返却に要する費用は、出品者の負担となります。)
- ◆テーマ 特に定めません。
- ◆部門 日本画、洋画、彫刻・彫塑、工芸、書、写真
- ※出品企画等の詳細は、各庁舎の福祉対策係までお問い合わせください。
- ◆申込方法 出品希望者は、4月25日(月)～5月25日(水)までに、各庁舎福祉対策係に用意している申込書に記入し、提出してください。
- ◆作品の搬入・搬出 搬入は、6月17日(金)～6月24日(金)の間に各庁舎福祉対策係に持ち込んでください。(作品が大きく、持ち込めない場合はご連絡ください。)作品は、7月4日(月)以降に返却します。
- ◆問い合わせ 福祉対策課福祉係 ☎0977-84-3111(内線314)



平成23年度

母子保健事業・予防接種のお知らせ パンフレットを作成しました!

乳幼児健診やポリオの予防接種の日程や育児サークル等のご案内など掲載していますので、ご活用ください。

◎健康増進課(湯布院庁舎)・挟間健康センター・庄内保健センターで配布しています。

◆問い合わせ 健康増進課健康増進係 ☎0977-84-3111(内線382)



住宅防火診断を行いました

3月1日から2日にかけて、住宅防火診断が挾間町同尻地区と北方、喜多里団地で行われました。これは、全国春季火災予防運動行事の一環として行われたもので、高齢者をはじめ市民の皆さんの住宅を訪問して、住宅防火診断を行うとともに火災防止につなげることが目的です。市機能別消防団女性団員らが、各地区役員さんの協力のもと、46軒の住宅防火診断を実施しました。生命と財産を守るため、早期の消火器と住宅用火災警報機の設置にご協力をお願いします。

■問い合わせ 由布市消防本部
☎097-583-1500



お知らせ

上水道料金をゆうちょ銀行で口座振替されている方へ

これまでゆうちょ銀行で口座振替された上水道料金は、「由布市水道事業管理者」名義の口座へ自動的に払い込まれるようになっていましたが、4月1日から口座名義を「由布市」へ変更させていただきますのでお知らせします。

この変更に伴う皆さんの諸手続きはありませんので、よろしくお願いします。

●申込先・問い合わせ 水道課(挾間庁舎)

☎097-583-1111

(内線1114・1115)

平成23年度

「合併処理浄化槽」設置補助金 申請の受付を始めました!

「合併処理浄化槽」を設置する家庭に対して、補助金を交付するための申請を受け付けます。

■補助対象

- ・個人専用住宅の新築やトイレの改造などを行い、合併処理浄化槽を設置する人
- ・由布市内に住所がある人、または市外で完成後住所変更できる人(来年2月末までに設置完了予定の人)
- ・店舗などの併用住宅は、延べ床面積の2分の1以上が居住用であること。

②ただし、販売目的(別荘を含む)で住宅を建設する場合は対象になりません。

■補助金申請の手続方法

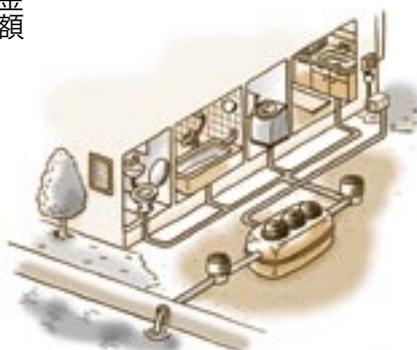
- ・由布市環境課または挾間・庄内庁舎地域振興課窓口で申請の手続きをしてください。
- ・申請書は、環境課または各庁舎地域振興課窓口に用意しています。

【受付開始日】4月1日(金)

③事前着工は認められません。また、予算の範囲を超える時点で終了します。必ず浄化槽を設置する前に申請を行ってください。

■補助金額

- ・5人槽相当(160㎡未満) 332,000円
- ・7人槽相当(160㎡以上) 414,000円
- ・10人槽相当(2世帯住宅、大家族住宅) 548,000円
- ④11人槽以上については、10人槽の補助額で打ち切りとします。



■問い合わせ

環境課(湯布院庁舎)

☎097-784-3111

(内線522)

地域振興課(挾間庁舎)

☎097-583-1111

(内線1227)

地域振興課(庄内庁舎)

☎097-582-1111

(内線117)



平成23年度 湯布院・広島カープ 支援交流事業団会員募集

プロ野球「広島東洋カープ」の湯布院キャンプが始まり35年、カープとの「親類関係」をより進めるため支援と交流を目的とした事業団が発足して6年目を迎えます。23年度も引き続き応援観戦や湯布院キャンプの受け入れなど多くの事業を行います。この機会にぜひ会員に登録していただき、一緒に優勝目指して応援しましょう。

《募集要項》

- 会員資格 由布市民（年齢・男女問わず）
- 会員期間 1年間（継続あり）
- 一般会費 特になし（各事業参加費が発生する場合は別途）
- 主な事業内容

マツダスタジアムへの応援観戦と由布観光PRツアーの実施（6月24日）
 湯布院リハビリキャンプ時の後方支援と交流活動
 日南春季キャンプへの激励訪問と由布市PR事業など
 ※会員登録書は湯布院・庄内・挾間の各庁舎窓口にて置いています。

《問い合わせ》 由布院観光総合事務所
 ☎0977-18514464 FAX0977-18514465

由布市奨学会の奨学生を募集します

■対象者 保護者または世帯主が一年以上由布市に在住している人のお子さんで、高校、高専、大学、短大または専門学校に在学し、優秀な資質を有し、経済的理由により学資の支弁が困難な人

■貸与金額(月額)

高校(高専)奨学生……………1万2千円

大学(短大、専門)奨学生…2万円

※6月と10月にそれぞれ6カ月分を振り込みます

■募集期間 4月11日(月)～5月13日(金)

■願書(申請書)配布場所

教育総務課(湯布院庁舎)

市民課窓口(庄内庁舎)

地域振興課窓口(挾間庁舎)

■問い合わせ 由布市教育委員会 教育総務課

☎0977-18413111 (内線235)

平成23年度 小中学校就学援助のお知らせ

由布市では、お子さまを小中学校へ就学させるのに経済的理由でお困りのご家庭に対して、学用品費、給食費等の一部を援助しています。詳しくは、各学校から配布される「就学援助についてのお知らせ」でご確認ください。
 (問い合わせ) 由布市教育委員会 学校教育課
 ☎0977-84-3111 (内線243)

平成23年度

県民すこやかスポーツ祭 参加者募集

平成23年度県民すこやかスポーツ祭が、5月の休日に次のとおり実施されます。

県民ならどなたでも参加できますので、あなたもさわやかな汗を流しませんか。

種目名	期日(曜日) 会場	参加対象 募集人数	参加料 (保険料含)
ウォーキング	5月1日(日) 由布市 湯布院B&G 海洋センター	小学生以上 100人	会員1人100円 一般1人200円 小学生以下1人 100円
レクリエーション	5月14日(出) 庄内 体育センター	どなたでも 150人	大人 1人300円 小中学生1人100円 幼児無料
ソフトバレーボール	5月15日(日) 由布市挾間 体育センター	18歳以上 250人	1人500円

■問い合わせ スポーツ振興課 体育振興係
 ☎0977-84-3111 (内線553)



九州リーグが開幕しました!

4月2日、だいぎんスポーツパークで第1節FC KAG OSHIMAと対戦し、今年度の九州リーグ開幕しました。続く3日には、海邦銀行SCと対戦。結果は、HOYO Oチームが2戦2勝でした。次節は、川副クラブと由布市上原サッカー場で対戦します!午後1時にキックオフされる同ゲームは、上原サッカー場のコケラ落としを飾るゲームです。ぜひみんなで、新しくなった上原サッカー場に応援に行きましょう!

HOYO AC ELAN応援イベントを開催します!

日時●5月4日(例) 午後4時～
 場所●イオン挾間店2階 子どもの広場
 ※選手とキックボーリングや、チャリティージャンケン大会など盛りだくさん!ぜひお越しください。
 問い合わせ●イオン挾間店同友店会事務局:平岡
 ☎097-586-3800

▶モバイルサイト

<http://hoyo-oita.com/i/>
 また、チームのホームページもぜひご覧ください。<http://hoyo-oita.com/>

HOYO できます。





教えて! 甲斐指導員



家庭菜園でも失敗しない苗選びと
早採りのコツを教えます。

連作に耐える接ぎ木苗を利用しましょう。

トマト、ナス、キュウリ、スイカなどは、土壌病害虫の耐性が弱いため、毎年同じ圃場で栽培せず2〜3年間空けてローテーションし、連作しないようにします。しかし、家庭菜園などではローテーションがすぐに行き詰まってしまう。

そこで、抵抗性や耐性の高い品種の台木に接ぎ木した苗を用います。接ぎ木苗は土壌病害虫に強いので、やむを得ず連作をする場合はこれをおすすめします。接ぎ木苗は定植後から台木の芽が伸びてくることあるので、入念にかき取ります。よく、ナスに赤い果実がついたとか、スイカなのにカボチャやウリができたという話を聞きます。多くの場合、台木の芽が伸びたためです。

接ぎ木苗は通常の苗より価格は高めですが、生育がよく増収も充分期待できます。

トンネル栽培で早期収穫

4月に入っても寒さが厳しい日や、霜の降りる日もあります。ビニールフィルム等でトンネル状に被覆するとキュウリ、ナス、トマトなどの果菜類は、通常の露地栽培に比べて約1カ月も早採りすることができます。植えつけの時期は地域によって大きく異なりますが、トマトは桜の花の咲き終わるころ、キュウリやナスはそれより約1週間遅らせたいころが良いでしょう。スイカは寒さに弱いので十分に暖かくなってから植えるようにしましょう。通常の方法としては、早めに元肥を入れた畑をフィルムでトンネル状に覆い、十分に灌水して周辺の裾に土をかけて密閉状態にし、地温を高めてから苗を植え付けます。植え付け後は、寒い日は密閉、好天なら日中は裾を開けて換気し、夜は密閉保温します。この作業ができない場合は、夜間の保温力は落ちますが、頂部に小穴を開けて換気します。活着して盛んに生長してきたら換気を次第に大きくし、トンネル内一杯に伸びたら、寒い夜以外はフィルムを除去します。暖かくなったら露地状態にして栽培します。

◆問い合わせ 農政課(挾間庁舎)

☎0977-5831111 (内線1329)

健康カレンダー

挾間

- 4月14日(木) 3歳児健診 (13:30~ 挾間健康センター)
- 4月20日(水) 10~11ヵ月児健診 (13:30~ 挾間健康センター)
- 4月27日(水) ポリオ予防接種 (14:00~ 挾間健康センター)
- 5月11日(水) 1歳6ヵ月児健診 (13:15~ 挾間健康センター)

ちびっこ広場 (9:30~11:30 挾間健康センター)
4月15日・22日、5月13日・20日

庄内

- 4月15日(金) ポリオ予防接種 (13:30~ 庄内保健センター)
- 5月13日(金) 幼児健診 (13:15~ 庄内保健センター)

湯布院

- 4月21日(木) ポリオ予防接種 (13:30~ コミュニティセンター)
- 4月26日(火) 4~5ヵ月児健診 (13:00~ コミュニティセンター)
- 5月18日(水) 1歳6ヵ月児健診 (13:00~ ゆふいん子育て支援センター)

休日在宅当番医

●内科・外科医

- 4/17 足立クリニック(湯布院) ☎0977-28-2226
- 4/24 ひろたクリニック(挾間) ☎097-583-5777
- 4/29 岩男病院(湯布院) ☎0977-84-3101
- 5/ 1 ごとう医院(挾間) ☎097-540-7800
- 5/ 3 庄内診療所(庄内) ☎097-582-3600
- 5/ 4 日野病院(湯布院) ☎0977-84-2181
- 5/ 5 川崎内科(挾間) ☎097-583-5211
- 5/ 8 湯布院厚生年金病院(湯布院) ☎0977-84-3171
- 5/15 宮崎医院(庄内) ☎097-582-0345

●歯科医

- 5/ 8 野上歯科クリニック(湯布院) ☎0977-85-4676

由布市暴力絶滅対策協議会だより②

暴力のない 安全で住みよさ日本一の 由布市を目指して

「大分県暴力団排除条例」・「由布市暴力団排除条例」が制定され、今年4月1日から施行されました！

由布市においても、県の条例を受け、暴力団排除の基本理念を定め、市民の安全で平穏な生活の確保と社会経済活動の健全な発展に寄与するため「由布市暴力団排除条例」が制定されました。県の条例とともに、今年4月1日から施行されました。

市民全体で、「暴力のない安全で住みよさ日本一の由布市」を築きましょう。

基本理念

- ①暴力団を利用しない。
- ②暴力団に協力しない。
- ③暴力団と交際しない。

●問い合わせ

総務課：由布市暴力絶滅対策協議会事務局
☎097-582-1111(内線205)



おしえて！ 国民年金

国民年金受給者の死亡届について

年金を受ける権利は、本人が死亡するとなくなりますので、年金を受けている方が亡くなられたときは「死亡届」の提出が必要です。この届け出が遅れますと、年金を多く受け取り過ぎて、後で返さなければならなくなることもありますので、ご注意ください。

なお、亡くなられた方がまだ受け取っていない年金がある時は、生計を同じくしていた遺族の方からの請求によって、その年金が支払われます。請求できる遺族の範囲・順位は、年金を受けていた方の死亡当時、その方と生計を同じくしていた配偶者・子・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹になります。

●問い合わせ

保険課国保年金係 ☎0977-84-3111
大分年金事務所 ☎097-552-1211

大分エコライフプラザ情報

●再生家具・自転車の抽選会

～再生した家具・自転車を
無料でお譲りします～

申込期限●5月1日(日) 正午まで

大分エコライフプラザで3月25日(金)ごろから受付をしています。当選時の持ち帰りは各自で行ってください。

抽選日時●5月1日(日) 12:30～

※フリーマーケットも同時開催。出店希望の申込締切は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ●大分エコライフプラザ
☎097-588-1410

今月の税/料

- 固定資産税(普通) 1期分
- 入湯税 4月期分(3月分)

納期限 平成23年5月2日(月)



中学校行事に伴い、スクールバス復路便の時間を変更して運行するため、次の便は運休および変更となります。ご利用の際はお間違えのないようご利用ください。

運休と変更のお知らせ

運 休 便		
運休日	コース名	運休内容
4/22(金)	シャトルバス	由布院駅前バスセンター13:45発、大学病院13:55発、庄内庁舎14:25発の各便
	塚原線	由布院駅前バスセンター12:50発の便
4/25(月)	シャトルバス	由布院駅前バスセンター13:45発、大学病院13:55発、庄内庁舎14:25発の各便
	湯平線	健康温泉館前12:45発の便
	下話線	大学病院13:30発の便
4/26(火)	シャトルバス	由布院駅前バスセンター13:45発、大学病院13:55発、庄内庁舎14:25発の各便
	塚原線	由布院駅前バスセンター12:50発の便
4/27(水)	シャトルバス	由布院駅前バスセンター13:45発、大学病院13:55発、庄内庁舎14:25発の各便
	下話線	大学病院12:10発の便
4/28(木)	シャトルバス	由布院駅前バスセンター13:45発、大学病院13:55発、庄内庁舎14:25発の各便
	湯平線	健康温泉館前12:45発の便
	酒野線	大学病院13:25発の便
5/12(木)	シャトルバス	由布院駅前バスセンター13:45発、大学病院13:55発、庄内庁舎14:25発の各便
	湯平線	健康温泉館前12:45発の便
	酒野線	大学病院13:25発の便

変 更 便						
変更日	4/22(金)	4/25(月)	4/26(火)	4/27(水)	4/28(木)	5/12(木)
変更内容	スクールバス各コースの帰り第1便の発車時刻が下記のとおり変更になります。					
コース名	始発バス停	発車時刻				
		変更前	水曜日	変更後		
湯平コース	由布院駅前バスセンター	16:37	15:37	⇒	12:52	
塚原コース	湯布院中学校	16:40	15:15	⇒	13:00	
阿蘇野コース	小野屋駅前	16:26	15:26	⇒	13:06	
大津留コース	庄内庁舎	16:32	15:32	⇒	13:12	
朴木コース	挾間中学校	17:00	15:50	⇒	13:10	
石城コース	庄内庁舎	16:33	15:33	⇒	12:53	

●問い合わせ

(コミュニティバス) 総務部 総合政策課 ☎097-582-1111(内線226)
(スクールバス) 教育委員会 教育総務課 ☎0977-84-3111(内線235)
(由布高スクールバス) 教育委員会 中高一貫教育推進課 ☎0977-84-3111(内線202)

市長です

No. 63

文・首藤奉文

みなさんこんにちは市長です。
庭のボケの花が辺りを明るく照らし、桜も7分咲き、いつもの年なら心いっぱい開いて、春を満喫し楽しい気分になるのですが、今はそんな気持ちにはなれません。きつと皆さんもそうだと思います。大津波が家々やすべてのものを根こそぎさらって行く様子、寒さに震えながら救援を待つ人々、瓦礫の中から肉親を捜す人、原子力発電所の災害そして非難している人たちを映すテレビを見て経験したこのない恐怖や言いようのない辛い気持ちになっています。

3月31日のY新聞に大きな見出しで「ママが帰ってくるまで」4歳未満の両親・妹待つ。震災から20日が過ぎた今も、両親との再開を信じて海を見つめる子がいる。岩手宮古市の小さな漁村に住む4歳の昆愛海ちゃん、両親と妹をさらわれてしまいました。近くに住むおばあちゃんや家に連れて帰ろうとしても、入り江を望む高台で「ママが帰ってくるまでここで待ってる」と言っている。聞いて聞かない、「パパから電話かかってくるかな」と父の携帯を握りしめている。そして、覚えたばかりのひらがなで「ままへ。いきているといいねおげんきですか」と母に手紙を書いたという記事がありました。涙が止まりません。

M新聞には、救援の米消防士に倒壊した店の女主人が「何もありませんが」とせんべいを差し出した。中国の救援隊員は通りがかりの住民から「遠くからわざわざありがとうございます」とアメや菓子を手渡された。外国では孤児院の子どもたちが募金活動を、お小遣いで被災者に水を送りたいというスエーデンの8歳の子、日本人からは代金は取れないと言ったポーランドのタクシー運転手、巨額のお金と「がんばって」との一言だけを残していったロシア紳士の記事を掲載。人として一番大切にしなければならぬ心を見せていただいています。

市民の皆さんからのたくさんの義援金や支援物資、避難者受け入れの申し出等、優しい心ありがとうございます。市民皆さんの温かい思いやりを、うれしく思うとともに私は誇りに思います。



▲写真は救援物資。ぜひ有効に活用していただきたいと思います。

集★編★リ★ラ★キ

春は出会いと別れの季節。私も家族ぐるみで付き合い友人が、先日県外に旅立ちました。本当に寂しい限りですが、きっとたくさんの出会いが待っていることでしょう。新生活、頑張ってください☆さて、最近鯉のぼりをあまり見なくなりました。核家族化が進み、住宅事情も重なって五月人形だけ飾る家が増えたそうです。鯉のぼりが届いた我が家ですが、組み立てに四苦八苦…。何とか節句の日に間に合うよう、頑張りたいと思います。(ふ)



▲辻馬車開きでCM大賞受賞報告が行われました！あらためて皆さんに感謝！

『ふるさとアルバム』市報ゆふ

市報ゆふは前半と後半の2部構成。前半の「あらかしの森林通信」は市からのお知らせが中心で、後半の「YUFUcity情報広場」は市内のイベントや話題などを中心に掲載しています。これからも皆さんに愛される“身近な情報誌”を目指します。



発行元
由布市役所総務部総務課
〒879-5498
由布市庄内町柿原302番地
TEL.097-582-1111
FAX.097-582-3971
http://www.city.yufu.oita.jp/

人の動き
総人口 …… 36,296人(-125)
男 …… 17,309人(-81)
女 …… 18,987人(-44)
世帯数 …… 15,120戸(-22)

印刷：株式会社インタープリンツ 4月1日現在()は前月比

毎週土曜日のお昼は「ゆふばん！」



由布市の情報発信番組「ゆふばん！」をご存じですか？由布市のイベント情報やお知らせをはじめ、オススメグルメや観光スポットなどを毎週ご紹介しています。

今月からは新企画もスタートしました。ぜひ、週末土曜日の午後はOBSラジオをお聴きください。由布市の魅力満載でお送りします。お楽しみに♪

■放送日時
毎週土曜日 午後1時～午後1時55分

- ◎取り上げてほしい話題等がありましたら、総務課秘書広報係(☎097-582-1111)までご連絡ください。
- ◎市役所各庁舎内にリクエストBOXを設置しました。お気に入りの曲をリクエストしてください。



ゆふ



UFU

City情報広場

2011
4
APRIL
Vol.67

育て市民の森

3月21日、合併5周年記念植樹大会が庄内町総合運動公園で行われました。当日は200人の市民らが参加し、山桜やカエデ合計234本を植樹しました。



ハッピーバースデー／由布高News

まちかどズームアップ

由布市文化財探訪

公民館からの学習情報

DEAR 図書館だより

みんなのひろば／読者の声

由布市合併5周年記念市民の森造成記



由布高校の最新情報は、HP(ホームページ)で提供しています。
ぜひ、インターネットにアクセスしてください。



No.30

由布高 News

アドレス <http://yufu-h.oita-ed.jp/>

検索

新生由布高校本格始動! ~連携型中高一貫教育と観光コース~



由布高校は平成21年・22年度に連携型中高一貫教育の研究校に指定されました。中学校から高校へ、高校から中学校への「乗り入れ授業」や、4校の生徒会による「ボランティア清掃」など、由布市内3中学と連携型中高一貫教育の研究を重ねてきました。そして、この4月から本格的に連携型中高一貫教育がスタートすることになりました。

6年間を見通したキャリア教育や到達度テストの開始、3中学と由布高生の部活動の交流等、今まで以上に連携を深める活動が始まります。さらに、大きな特色として県内初の「観光コース」が設置されます。観光コースでは「観光学」や「韓国語/中国語」等を学び

「由布市の新しい街づくりについての研究発表」を行うことで創造力・企画力・コミュニケーション能力を育みます。新しい由布高校にご期待ください。



2年連続、進学・就職率100%達成! ~第56回卒業式~

3月1日(火)、由布高校体育館で第56回卒業式が行われました。男子33人、女子42人、計75人が由布高校を巣立ち、この春からそれぞれの進路にすすみます。昨年以上に経済状況が厳しく企業からの求人数が少ない中、卒業を前に全員の進路先が決まりました。2年連続で進学率・就職率ともに100%を達成しました。卒業記念品は、平成23年度の入学生のために、折り畳み椅子62脚が贈られました。

お知らせ

- 4月 8日(金)..... 始業式
- 4月12日(火)..... 入学式
- 4月13日(水)..... 新入生オリエンテーション
- 4月14日(木)..... 課題考査
- 4月15日(金)..... 歓迎遠足
- 4月19日(火)..... 制服着こなし講座

個人面談期間 4月18日(月)~28日(木)

1年生教育合宿 4月20日(水)~22日(金)

ハッピー4月バースデー

あなたが生まれた大切な日

* 4月の誕生花 * チューリップ・かすみ草 など

たけした ひなた 竹下 陽汰くん

平成20年4月4日生 湯布院町下湯平

お誕生日おめでとう!
わんぱくなひなたくん。
お姉ちゃん、お兄ちゃんと
仲良くして元気に大きくな
ってください。



あらかね ゆう 荒金 優吹くん

平成22年4月13日生 湯布院町川北

1歳のお誕生日おめでとう!
たくさんの方が可愛がってくれて
うれしいね。みんなから好かれる
優しい子に育ってね。



こちょう ゆきな 古長 幸奈ちゃん

平成20年4月10日生 湯布院町湯平

食べること大好き、
おしゃべり大好き、
歌うこと大好きの幸奈。
優しいお姉ちゃんになってね。
パパ・ママより



いわもと ゆあ 岩元 結愛ちゃん

平成21年4月17日生 挾間町挾間

2歳の誕生日おめでとう。
パパもママもゆあちゃんの笑顔が
大好きです。これからもお兄ちゃんと
仲良く、いっぱい遊んでいっぱい
食べてスクスク育ってってね。

やまだ はるき 山田 陽喜くん

平成22年4月12日生 挾間町古野

パパとママを選んで、
生まれてきてくれてありがとう。
明るく元気に育ってね。



あべ ゆうと 阿部 悠人くん

平成21年4月22日生 挾間町挾間

あっという間に2歳だね!
2月には弟が生まれて、
お兄ちゃんになった悠人。
琳人と2人、仲良く
のびのび育ってね♡



※お誕生日コーナーにお子さんの写真を掲載したい保護者の方は、事前に総務課 ☎097-582-1111 (内線208)へ電話でお申し込みください。対象は3歳以下で、市報ゆふのお誕生日コーナーに掲載されることがない方とします(先着順)。

⇒今月の「まちのスポットライト」はお休みします。

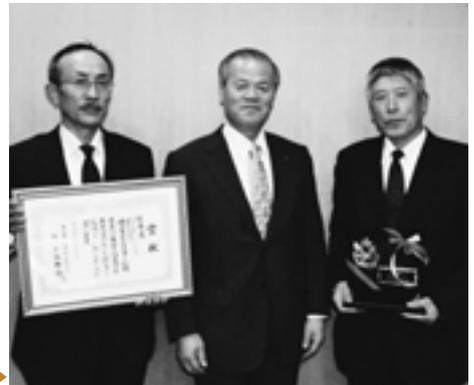
まちがどズームアップ

成果

ゆのきナチュラルファームが県農業賞受賞!

農事組合法人ゆのきナチュラルファーム(坂本成一代表)が、第42回大分県農業賞の優秀賞を受賞しました。受賞したのは集落営農・むらづくり部門で、多くの農家が兼業農家という厳しい状況の中、地域農業の担い手として収益性の高い作物を生産し、効率的な土地利用と創意工夫した取り組みが認められたものです。坂本さんは、「今後はそば道場を作って、そば作りと一緒に人作りも行いたい」と話していました。

人が訪れる柚の木を目指して頑張ってください。▶



挑戦

体験交流を通して神楽の世界へ

2月26日、庄内神楽体験交流会がほのほの工芸館で開催されました。当日は、市内外から神楽ファン30人が参加し、小道具の御幣づくりからスタート。続いて、自分たちで作った御幣を使って、演目「五方礼始」の舞や、太鼓・小太鼓などの楽(がく)に挑戦しました。初めて体験する参加者が多かったのですが、普段味わえない庄内神楽の世界を満喫しました。

◀御幣作り(左)や「五方礼始」(右)を体験



到来

春の足音 辻馬車開き

3月1日、由布院盆地に春の訪れを告げる恒例の「辻馬車開き」が行われました。1975年の県中部地震後、湯布院の健在ぶりを全国にPRするため始まった辻馬車。当日は、由布院駅内アートホールで神事が行われた後、早速関係者らを乗せた第1便が出発しました。また、観光客らに振る舞う餅つき大会も行われ、威勢の良いかけ声が駅構内に響き渡っていました。

由布の侍のCMも好評でした!▶



文化

感動を共有して理解を深めて

第22回ゆふいんこども映画祭が、3月5日から6日にかけて湯布院公民館で開催されました。同映画祭は、行政が開催する全国で唯一のこども映画祭です。今年のテーマは「こどもも、おとなも、楽しめる映画祭!」。文化庁優秀映画鑑賞推進事業の作品「櫻の園」をはじめ、中央公民館と同映画祭実行委員会が選んだ7本の良質な映画が公開されました。来年も、大人と子どもが出会うゆふいんこども映画祭が楽しみです。



子どもたちのポスターを展示▶



地域活動

僕たちのまちをきれいに

東庄内小学校(大野直美校長)の6年生の児童23人が家庭科の「地域とのつながりを広げよう」という学習で、2月15日、校区のゴミを拾いました。5班に分かれて2時間ほどで予想外のゴミ袋5つ分のゴミが集まり、自分たちで何かできることはないかと考えました。ゴミを減らすことを呼びかけようということになり、「ゴミのポイ捨て禁止」など書いた看板を自分たちで作り、3月15日に町内に立てて回りました。子どもたちの愛する郷土がもっときれいになるといいですね。 頑張って設置しました! ▶



▶学業多塾のコース



▶懐かしい給食も盛り



誇り

児童文化の父 後藤櫛根を讃えて

3月12日、第4回ならねっ子まつりがはさま未来館で行われました。ステージでは、市役所職員有志で構成された演劇部が、名作「杜子春」を題材にした劇を披露。その他、学校司書部会による本のリサイクルや押し花教室、さらにお茶席や喫茶コーナーなど盛りだくさんの催しが行われ、多くの子どもや保護者らでにぎわいました。郷土の偉人のことをもっと知って、みんなで遺志を引き継ぎましょう。

祝福

3人の方が100歳を迎えました

3月4日、100歳を迎えた日野由喜さん(湯布院町川北)のお祝いをするため、首藤市長が特別養護老人ホーム「白心荘」を訪れました。現在、日野さんは同老人ホームに入所しており、毎日楽しく過ごしているそうです。首藤市長が「おめでとうございます。」と記念品と花のアレンジメントを手渡すと、「寒い中来ていただき、ありがとうございます。」とお礼を述べていました。

3月15日、橋本守さん(挾間町鬼崎)と麻生カズエさん(湯布院町川上)が100歳を迎えました。同日には、首藤市長が橋本さんの入所するケアハウス豊友館を訪れてお祝いをしました。施設では、毎日規則正しい生活を送っているようで、首藤市長が「おめでとうございます。」と声をかけると「ありがとうございます。」と応えていました。また、同居する長女宅で祝福を受けた麻生さん。笑顔で花のアレンジメントと記念品を受け取っていました。100歳、誠におめでとうございます。



▲日野由喜さん



▲橋本 守さん



▲麻生カズエさん



谷小OB会が植樹の場を整備

現在、谷地域資源保全協議会の谷小OB会(木村幸範会長)のメンバーらが、谷小学校の裏を整備しています。これは、谷地域の環境整備活動の一環として、平成18年6月から子どもたちが植樹する場を提供するため行われているものです。今年は、3月8日に行われ、14人の卒業生らが山桜や花モモ、木蓮などを植えました。今後も、草刈りをはじめとした維持管理はもちろん、植樹活動も継続する予定だそうです。花も心も満開になる同会のすばらしい取り組みに期待しましょう。



◀▲卒業記念植樹の様子

温泉・気候・人の3つの癒しを提唱した岩男先生



▲ぼっぼの会の楽しいアトラクション



ありがとう!健康温泉館

3月20日、第12回ゆふいん健康温泉サミットが行われ、市内外から約130人の参加者が出席しました。健康温泉館を利用して元気になった利用者の体験発表をはじめ、岩男病院院長の岩男裕二郎先生による「温泉と森林浴で癒し効果」と題した講演会などが行われました。また、午後からは水中運動療法やアクアダンスを実際に体験するなど、楽しみながら生き生きと健康づくりを実践しました。

▼昨年創部した由布高校吹奏楽部と共演



▲すばらしい演奏を披露した挟間中学校吹奏楽部



▲会場を盛り上げた由布川幼稚園児たち



“あたたかい思い”春風にのせて

3月26日、毎年開催される自衛隊湯布院駐屯地音楽部による「春風コンサート」がはさま未来館で行われました。今年は3月11日に発生した東日本大震災の復興を願って行われ、当日は開演前に市議会議員らが義援金を募りました。コンサートは、岡本真夜さんの「tomorrow」から始まり、同音楽部と挟間中学校吹奏楽部による合同演奏の後、最後は会場の参加者らと一緒にZARDの「負けないで」を合唱しました。あたたかい思いは、きっと届いたことでしょう。



バトンで全国大会出場決定!

挟間中学校1年生の渡邊帆香さん(挟間町赤野)が、第36回全日本バトントワリング選手権大会への出場キップを獲得しました。渡邊さんは、ハサマバトンコメツ(佐藤えつ子代表)に所属し、小学生からバトンを習いはじめ、全国大会は今回で2回目だそうです。残念ながら、東日本大震災の影響により同大会は中止されましたが、次回こそ渡邊さんの華麗な演技が披露されることを期待しています。



◀ダンスとフリースタイルに出場予定だった渡邊さん。今後も頑張ってくださいね!

由布市文化財探訪

その.61

今回は庄内地域の
「五ヶ瀬、畑田の文化財」について紹介します

【下園墓地五輪塔】

五ヶ瀬の下園墓地に数基の五輪塔があります。日名子太郎氏の著書『大分県金石年表』（昭和15年）によると、これらの五輪塔の中には応永5（1398）年の銘のある地輪と、永享6（1434）年の墨書銘の地輪があると記されていますが、地輪以外の部位は失われていたようです。旧庄内町が昭和49年に文化財指定をした当時、応永5年の塔は空・風・火・水・地と各部がそろっていたことから、日名子氏の調査後に復元されたものと思われる。また、当時の調査では総高97cmを計り、以下の銘文が確認されています。

「法妙禪尼 応永五 歳次 四月九日
戊寅 ）」

禪尼とは女性の法名であり、歳次は年回りを示す語です。

もう一つの永享6（1434）年の五輪塔について『大分県金石年表』では「妙□禪尼□□□永享六年寅十一月□□」
と記載されていますが、町指定当時には判読できませんでした。



▲下園五輪塔群(昭和49年町指定当時の写真)

町指定当時の写真は立派なものですが、現在はわずかに五輪塔数基があるだけで、紀年銘のある五輪塔も確認できず、残念な限りです。

●次回紹介は…

湯布院地域の「蹴裂権現」をご紹介します。
お楽しみに！

問い合わせ

由布市陣屋の村歴史民俗資料館

☎ 097-583-3941

由布市教育委員会 生涯学習課文化振興係

☎ 0977-84-3111（内線225）

【畑田板碑】

出雲大社庄内教会所西側の阿南神社第一鳥居の横に板碑があります。総高119cm、幅57cmで、山状の頂部の一部は破損しています。通常の板碑と異なり、額部の作り出しはありません。碑面上部にア（胎藏界大日）の種子が彫られています。種子の半分位の所から折れています。わずかに見られる銘文について、『庄内町誌』には「下部に銘文がわずかに見られ、左側には以下の文字が判読出来る。」と記されています。

「皆応安六□丑十一月 一結衆」

「皆」は「とき(時)に」と読み、応安6（1373）年のことを意味します。



▲畑田板碑

このほか種子の左側に「□千部□」の文字があります。読誦塔（經典供養塔）の場合「大乘妙典千部供養」などの文字を刻すことから、この板碑は經典供養のために、何人かが集い、「一結衆」の名によって造立したものと思われる。

【若宮板碑】

かつて、阿南神社から東へ約150mほどの畑田字若宮、山崎氏所有の田の端にあった板碑は、現在



▲若宮板碑

道路拡幅のため、山崎氏墓地に移設されています。総高は約100cm、幅31cm、上から山形、二条線、額部・碑身で構成され、額部は27cmと大きく銘文はありません。額部にオン（金剛界大日）、碑身部にア（胎藏界大日）の種子が彫られています。『庄内町誌』で

は、室町時代の作とされ、伝承によれば「昔この地を通過した武士の団の中で死んだ者があり、埋葬したものだといわれている。」と記しています。

参考文献：『庄内町誌』

ひろげよう学びの輪

公民館からの学習情報 vol.24

学び(生涯学習)の拠点である公民館の情報を、毎月このコーナーで紹介しています。あなたに役立つ学びの情報が、きっとあると思います。

問い合わせ

挾間公民館(はさま未来館) ☎097-583-1118

庄内公民館 ☎097-582-0214

湯布院公民館 ☎0977-84-2604

湯布院公民館からお知らせ

由布市ゆふいんこども映画祭に参加しませんか 23年度の実行委員を募集しています!



由布市ゆふいんこども映画祭は、全国で自治体が開催している唯一のこども映画祭で、良質な映画を

上映する映画祭として、文科省からも評価されています。これまでの上映作品は、子どもが楽しむだけでなく、大人でも楽しめる作品を基本に選定されてきました。

子どもの映画祭は、大人の理解と援助がなければ、継続が難しいと言われていますが、この映画祭は当初から行政が事務局となり、ボランティア実行委員が企画・立案・作品選定・上映のすべてを実施しています。

そして、多くの市民の皆さんから多大な支援をいただいています。

実行委員は、さまざまな職種や年齢(10代~70代)の方々が、20人ほど参加しています。映画や子どもが大好き、イベントに参加してみたい、ボランティアに参加したい方々など、大歓迎ですのでよろしくお願い致します。

■実行委員会 毎月2回湯布院公民館で開催(第2・第4金曜日 午後7時~午後9時30分)

3月25日、湯布院公民館を中心に活動する「ちょぼらクラブ」と「リーダーズスクール」が、Y.Y.チャレンジ2011のバザー売上げ170,639円を、東日本大震災義援金として首藤市長に手渡しました。



地域ボランティアを募集します



「地域の子は地域のみんで守り育てよう」をスローガンに、湯布院町青少年ボランティアサポートセンターでは、新たに地域の子もたちを支援していただく方を募集しています。主に、公民館で行う子ども教室や学校などへの支援です。ボランティアは無理をせず、できる時にできることをしていただきます。新しい「喜び」や「発見」、そして何より子どもたちから元気をもたらしますので、よろしくお願い致します。還暦の方大歓迎です!

●問い合わせ 湯布院町青少年ボランティアサポートセンター(湯布院公民館内)
☎0977-84-2604 FAX.0977-84-2603

庄内公民館からのお知らせ

快適空間

庄内公民館の1階と2階トイレに洋式トイレが設置されました。これまでは障がい者トイレのみ洋式でしたので、利用者の皆さんには大変ご不便をおかけしていました。

また、正面玄関もタイル張り替え工事をしてきれいになりましたので、これまで以上に庄内公民館をご利用して下さるようよろしくお願い致します。



新しく設置された洋式トイレ

DEAR ディア

由布市立図書館 ☎097-586-3150

庄内図書館 ☎097-582-0214

湯布院図書館 ☎0977-84-2604

友だち 100冊つくるんだ

2011・第53回 こどもの読書週間

4月23日(土)～5月12日(木)

子どもたちにもっと本を！との願いから「こどもの読書週間」は1959年にはじまりました。こどもに読書を勧めるだけでなく、大人にとってもこどもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

(読書推進運動協議会)

★★図書館のここが一番！イチオシおすすめコーナー★★

由布市立図書館

「こどものくに」

今、読み聞かせ活動が注目されています。このコーナーには、乳幼児から低学年向けの絵本や紙芝居が書架いっぱい並んでいます。

30冊まで貸し出しができます。たくさん借りて子どもさんと一緒に読み聞かせを楽しんでください。

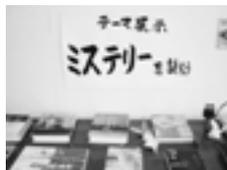


庄内図書館

テーマ展示コーナー

昨年より一般向けテーマ展示をはじめました。

個人・団体ともに2ヵ月を超える長期延滞者が少ない(現在0人!)等のマナーの良さや、小さな図書館ならではの温かい交流やご意見を通し図書館づくりができることに、日々感謝しています。



湯布院図書館

「観光地ゆふいん」コーナー

旅館、ホテル、喫茶、土産物店など、観光地湯布院ならではの職業に就いている人のためのコーナーです。専門料理、おもてなし、



英・中・韓国語接客フレーズの本などを揃えました。

利用者の要望を伺いながらこれから充実させていく予定です。



第4回 後藤榎根 ならねっ子まつり

今年も多く参加者でにぎわいました。今後も、後藤榎根が生涯をかけて活動した、児童文化推進運動の精神を引き継ぎ、「児童文化の花咲く由布市」のシンボルとして「ならねっ子まつり」が続いていく事を願います。



▲おはなしの部屋「語り」の様子

4月企画展示

「小学生の英語の本特集」

今年度より、小学校で英語の授業が始まります。英語学習に役立つ資料を展示しています。ぜひ、ご覧ください。

由布市立図書館 4月24日(日)まで



▲発音の本、英語の読み聞かせの本、英語の昔話、辞典…。CD付の本もあります。

4月テーマ展示

◇由布市立図書館「名前」

◇庄内図書館「旅」

児童「地球のことを考えよう」

◇湯布院図書館「花いっぱい」

児童「「ことば」であそぶ」

4月のカレンダー<3館共通>

休館日

<http://library.yufu-city.jp/> mail: h_tosho@city.yufu.oita.jp

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月休館日 2日(月)・3日(火)・4日(水)・5日(木)
9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)・31日(火)

おはなし会

由布市立図書館 第3水曜

4月20日(水)・5月18日(水)

庄内図書館 第3日曜

4月17日(日)・5月21日(土)

湯布院図書館 第3木曜

4月21日(木)・5月19日(木)

開館時間

由布市立図書館・湯布院図書館

火～金 午前10時～午後6時

土・日 午前10時～午後5時

庄内図書館

火～日 午前9時～午後5時

休館日(3館共通)

毎週月曜日・毎月最終火曜日・祝日・年末年始

HOT LINE

みんなのひろば

由布市総務課秘書広報係
☎097-582-1111 内線208

試験

自衛官等各種採用試験

募集種目	資格	試験日および受付期間
幹部候補生	22歳以上26歳未満 (平成24年4月1日)	試験：5月14日(土) 受付締切：5月6日(金)
一般曹候補生	18歳以上27歳未満 (平成24年4月1日)	試験：5月21日(土) 受付締切：5月6日(金)

問い合わせ 自衛隊大分募集案内所

☎097-546-2177

<http://www.mod.go.jp/g sdf/jieikanbosyu/>

相談

由布市無料相談

【行政相談】 担当：行政相談委員

(内容) 行政の仕事やサービス、各種手続きなどはさま未来館 毎月第1土曜日 午前9時～正午

次回は5月7日(土)

庄内庁舎 毎月18日 午前9時～正午

次回は4月18日(月)

湯布院庁舎 毎月第3水曜日 午前10時～正午

次回は4月20日(水)

【不動産相談】 担当：宅地建物取引主任者

(内容) 土地の境界線、不動産の賃貸借など

庄内庁舎 毎月第1月曜日 午前8時30分～正午

次回は5月2日(月)

【法律相談】 担当：司法書士

(内容) 法律に関する日常のお困りごとなど

庄内庁舎 毎月第3水曜日

午後1時30分～午後4時

次回は4月20日(水)

◎相談日が休日の場合は、翌平日となります。

問い合わせ 総務課総務係

☎097-582-1111(内線205)

市内の美化にご協力ください

犬のフンや空き缶のポイ捨てが増えていきます。一人ひとりが美化を心がけて、私たちの住むまちをきれいにしましょう。

お知らせ

計量器定期検査のお知らせ

はかり(計量器)を商品の販売、農水産物の出荷・販売、薬の調剤、健康診断、診療等に使用されている方は、2年ごとに県知事が行う定期検査を受けなければなりません。

取引・証明に使用するはかりを新規に購入された方などで今までに検査を受けたことがない方、取引証明への使用を廃止された方は5月16日(月)までに商工観光課までお知らせください。

検査日程

日時	場所	備考
5月17日(火) 午前10時～正午 午後1時～午後3時	挾間庁舎旧保健センター1階	
5月18日(水) 午前10時～正午 午後1時～午後3時	庄内庁舎保健センター前	
5月19日(木) 午前10時～ 午前11時30分	金子商店 ガレージ(湯平)	湯平・ 下湯平地区
5月19日(木) 午後1時～午後3時	南由布駅	川西・ 中川地区
5月20日(金) 午前10時～正午 午後1時～午後3時	湯布院B&G 海洋センター	塚原・ 由布院地区

検査手数料 機械式のもの 500円～

電気式のもの 1,400円～

持参品 計量器

(分銅、おもりも必ずご持参ください)

問い合わせ

大分県計量検定所 ☎097-532-8307

由布市商工観光課 ☎0977-84-3111

木造住宅補助事業のお知らせ

大分県では、平成23年度に地域材を使用した木造の住宅、店舗等の新築・増改築に25,000円～400,000円を補助します。

詳しくは、受付窓口機関・大分県木材協同組合連合会までお問い合わせください。

問い合わせ 大分県木材協同組合連合会

☎097-532-7151

検察審査会にご相談ください

交通事故や詐欺などの被害にあって、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。こんな不満をお持ちの方は、検察審査会にお気軽にご相談ください。

相談は無料です。また、秘密は固く守られます。

問い合わせ

大分県検察審査会事務局(大分地方裁判所内)

☎097-532-7161

今年
5月31日
まで

付けましたか？住宅用火災警報器

住宅火災による死者のほとんど(約70%)は「逃げ遅れ」が原因で亡くなっています。火災で亡くなる時間帯は、午後10時から午前6時の間(就寝中)が多くなっています。

このことから、寝室等に設置された住宅用火災警報器により早期に火災の発生を知り、消火や避難をすることで防げます。由布市の設置率は、22年の8月時点で、約43%と低く早期の設置が必要です。

住宅火災における死者発生ポイント

- 住宅火災の死者数:建物火災による死者数の85%
- 内訳: 逃げ遅れ70%、着衣着火10%、再進入2%、不明20%
 - 階別: 住宅1階65%、2階20%、3階3%
 - 場所: 居室(寝室)75%、台所10%
 - 時間: 6-22時45%、22-6時55%
 - 年齢: 幼児5%、6-64歳40%、65歳以上55%)75歳以上45%

住宅用火災警報器の訪問販売トラブルの対応

訪問販売の場合は、契約書を受け取った日を含め8日間以内であれば、クーリング・オフができます。

問い合わせ 由布市消防本部

☎097-583-1500

都市計画変更(案)の縦覧について

次の計画案に対して意見のある方は、縦覧期間満了の日までに、市に対して意見書を提出することができます。

都市計画変更案種類(由布市決定)

挟間都市計画下水道の変更〈公共下水道(挟間処理区)の事業中止による〉

縦覧期間 4月26日(火)~5月9日(月)

午前8時30分~午後5時(平日のみ)

縦覧場所 都市・景観推進課
(市役所挟間庁舎2階)

問い合わせ 都市・景観推進課

☎097-583-1111(内線1254)

地デジ受信のことならなんでも!
デジタルテレビ受信のお手伝い
でんわ急げ!
デジサポへ
大分
▶▶ 総務省 大分県テレビ受信者支援センター(デジサポ大分)
地域専用電話 ☎097-515-8300
平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからのおたよりを紹介しています。本誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、由布市への思い、あなたの身近なことなどを郵便ハガキに書いてお送りください。おたよりをいただいた方には、ポストカード付き「フォトフレーム」をプレゼントします。

“故郷は遠くに在りて想うもの”市報ゆふ毎号懐かしく愉しく拝読しています。永年、千葉県松戸市に生活していますが、大分郡谷村(挟間町谷)に生まれ育ちました。遠足に行った妙音山で、わらびの生えている原っぱを無邪気にはしゃぎ走り回ったこと、村の鎮守さまのお祭りや盆踊りなど、現在でも楽しい思い出として残っています。終生の願いは、お神楽を鑑賞したいです。平成20年8月、由布高校郷土芸能部の全国優勝の熱演、誠にありがとうございます。山が青く、川が清く、空気が澄んでいる由布市に栄光あれ!
(馬見塚繁生さん、千葉県松戸市の83歳男性)
※スペースの関係上、途中省略させていただいておりますが、ご了承ください。

おたよりありがとうございます。由布市では5月3日に全国神楽大会をはじめ、庄内定期公演や由布院温泉神楽を開催していますので、こちらに帰省された際にはぜひご鑑賞ください。

●問い合わせ

総務課秘書広報係 ☎097-582-1111(内線208)



★ハガキの裏面に「読者の声」をご記入の上、点線に沿って用紙を切り取り、図の通りはがれないように全面にのりづけ(テープは不可)して、ご投函ください。

8 7 9 5 4 9 8

由布市役所 総務課秘書広報係 行

(No.67/2011.4)

◎ご氏名

フリガナ

年齢 / 歳 性別 / 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で掲載させていただきます。

◎ご住所 〒

電話 () -

E-mail

ゆふいん温泉 献湯祭

とき 4月17日(日) 10:30~11:30

ところ JR由布院駅前広場

内容◆献湯祭、由布市キャンペーンレディー発表会
※諸般の事情により、今年は道中行列やお湯かきレース等の催しは中止になりました。

由布院温泉神楽■月一の奉■

とき 4月23日(土)・5月14日(土)

ところ 湯布院公民館大ホール

入場料 500円(小学生以下無料)

内容◆月に一度ゆふいんで開催される温泉神楽。4月は庄内原神楽座、5月は櫟木神楽座が出演します。



夜神楽をぜひご鑑賞ください。

第32回 黒岳山開きと シャクナゲ観賞登山

とき 4月29日(祝) 8:30~

ところ じろそ村キャンプ場(庄内町阿蘇野)、
黒岳

内容◆安全祈願祭、シャクナゲ観賞登山
※登山者へ豚汁のサービスと記念品の配布もあります。

お知らせ

由布自然とふれあう友の会(生野喜和人代表)では、黒岳山開きが行われる4月29日、「原生林とのふれあい～山開き・新緑の黒岳を歩く～」をテーマに、男池～かくし水コースをご案内します。参加を希望される方は、同会の工藤さん(☎097-582-0648)までお問い合わせください。



大好評の全国大会が今年開催!

東日本大震災復興支援 (収益金は被災地に送らせて頂きます) 第2回 由布市全国神楽大会

とき 5月3日(祝) 8:00~18:00(予定) ※約10時間

ところ 庄内総合運動公園神楽殿 ※雨天時は庄内屋内競技場で開催

入場料 前売券 2,000円(限定2,000枚)
当日券 2,500円 ※中学生以下無料

※チケットは、由布市役所各庁舎地域振興課・商工観光課・ローソンチケット(Lコード:87587)で販売中!

出演団体◆備中神楽伝承研究会(岡山県)、比婆荒神神楽(広島県)、尾八重神楽(宮崎県)、郷土芸能保存会 麻生神楽(宇佐市)、浅草犬山神楽保存会(豊後大野市)、宇目神楽(佐伯市宇目町)、大龍神楽座、庄内子供神楽座、中臣神楽座、平石神楽座、由布院神楽保存会、櫟木神楽座、由布高等学校郷土芸能部、庄内原神楽座 計14団体

問い合わせ◆商工観光課(湯布院庁舎) ☎0977-84-3111

SPR イベント

第2回 豊後はさま厄除花火 (同時開催:東日本大震災義援花火)

家内安全、厄除け祈願、大願成就。厄除花火の打ち上げを行います。

とき 5月1日(日) 19:00~

ところ 中洲賀グラウンド

申込先・問い合わせ ◆ 豊後はさま厄除花火実行委員会(平岡)
電話090-1081-4600

募集

打ち上げ希望者募集!

参加料奉納花火代 3,000円

※4月20日(水)までにお申し込みください。



第32回 由布岳山開き祭

とき 5月8日(日) 9:00~

ところ 由布岳正面登山口

内容 ◆ 安全祈願祭、記念品配布
豚汁無料サービス(先着1,200食)

庄内神楽定期公演

今年で20年目を迎える庄内神楽定期公演。
5月から10月までの毎月第3土曜日(8月は第1土曜日)に公演を行っています。

とき 5月21日(土) 18:00~21:00

ところ 庄内総合運動公園神楽殿

出演 庄内子供神楽座・中臣神楽座

入場料 300円(高校生以下無料)



湯平温泉 献湯祭

とき 5月21日(土)

ところ 湯平温泉

内容 ◆ 稚児行列、湯平小学校鼓笛隊パレードなど

※詳細は湯平温泉観光案内所 (☎ 0977-86-2367) までお願いします。

RING ト情報

